

県立倉吉農業高等学校特別教室棟空調設備改修工事 (機械設備)

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M-00	表紙・図面リスト	NS
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M-03	配置図・付近見取図	1/1500
M-04	冷暖房設備 機器表・凡例(改修後)	NS
M-05	冷暖房設備 1・2階平面図(改修後)	1/200
M-06	冷暖房設備(計装工事) 1・2階平面図(改修後)	1/250
M-07	冷暖房設備(計装工事) 集中リモコン1・2階平面図(改修後)	1/250
M-08	暖房設備 1階平面図(改修前)	1/150・50
M-09	暖房設備 2階平面図(改修前)	1/150・50
M-10	冷暖房設備(計装工事) 1階平面図(改修前)	1/150・50
M-11	冷暖房設備(計装工事) 2階平面図(改修前)	1/150・50
M-12	建築工事 1・2階平面図	1/200



機器表 (改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	備考
PAC 1	パッケージエアコン (新設)	天吊形(高効率タイプ) 140形	3φ×200V	3	設置場所: 1階調理実習室
		定格冷房能力: 12.5(5.7~14.0)kW 定格暖房能力: 14.0(6.3~18.0)kW	COMP: 2.36kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 転倒防止金物	FAN内: 150W		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外: (110+110)W		
PAC 2	パッケージエアコン (新設)	天吊形(高効率タイプ) 160形	3φ×200V	2	設置場所: 1階家庭保育実習室
		定格冷房能力: 14.0(6.3~16.0)kW 定格暖房能力: 16.0(7.3~20.0)kW	COMP: 2.83kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 転倒防止金物	FAN内: 150W		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外: (110+110)W		
PAC 3	パッケージエアコン (新設)	同時ツイン天吊形(高効率タイプ) 224形	3φ×200V	1	設置場所: 2階生物工学室
		定格冷房能力: 20.0(9.0~22.4)kW 定格暖房能力: 22.4(10.1~28.0)kW	COMP: 4.52kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 転倒防止金物	FAN内: 150W		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外: (227+227)W		
PAC 4	パッケージエアコン (新設)	同時ツイン天吊形(高効率タイプ) 224形	3φ×200V	1	設置場所: 2階化学生物室
		定格冷房能力: 20.0(9.0~22.4)kW 定格暖房能力: 22.4(10.1~28.0)kW	COMP: 4.52kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 転倒防止金物	FAN内: 150W		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外: (227+227)W		
PAC 5	パッケージエアコン (新設)	同時ツイン天吊形(高効率タイプ) 280形	3φ×200V	1	設置場所: 1階被服実習室
		定格冷房能力: 25.0(11.3~28.0)kW 定格暖房能力: 28.0(12.6~35.0)kW	COMP: 5.90kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 転倒防止金物	FAN内: 150W×2		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外: (227+227)W		
PAC 6	パッケージエアコン (新設)	同時ツイン壁掛形(高効率タイプ) 160形	3φ×200V	1	設置場所: 1階農業管理室
		定格冷房能力: 14.0(6.3~16.0)kW 定格暖房能力: 16.0(7.3~20.0)kW	COMP: 2.83kW		
		ワイヤレスリモコン, 転倒防止金物	FAN内: 48W×2		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外: (110+110)W		
CR-1	集中リモコン (新設)	液晶タッチパネル形 屋内ユニット接続最大128台	1φ×100V×19W	1	設置場所: 1階事務室
		スケジュール機能・運転/停止・設定温度の変更・個別リモコン操作禁止			

注 記

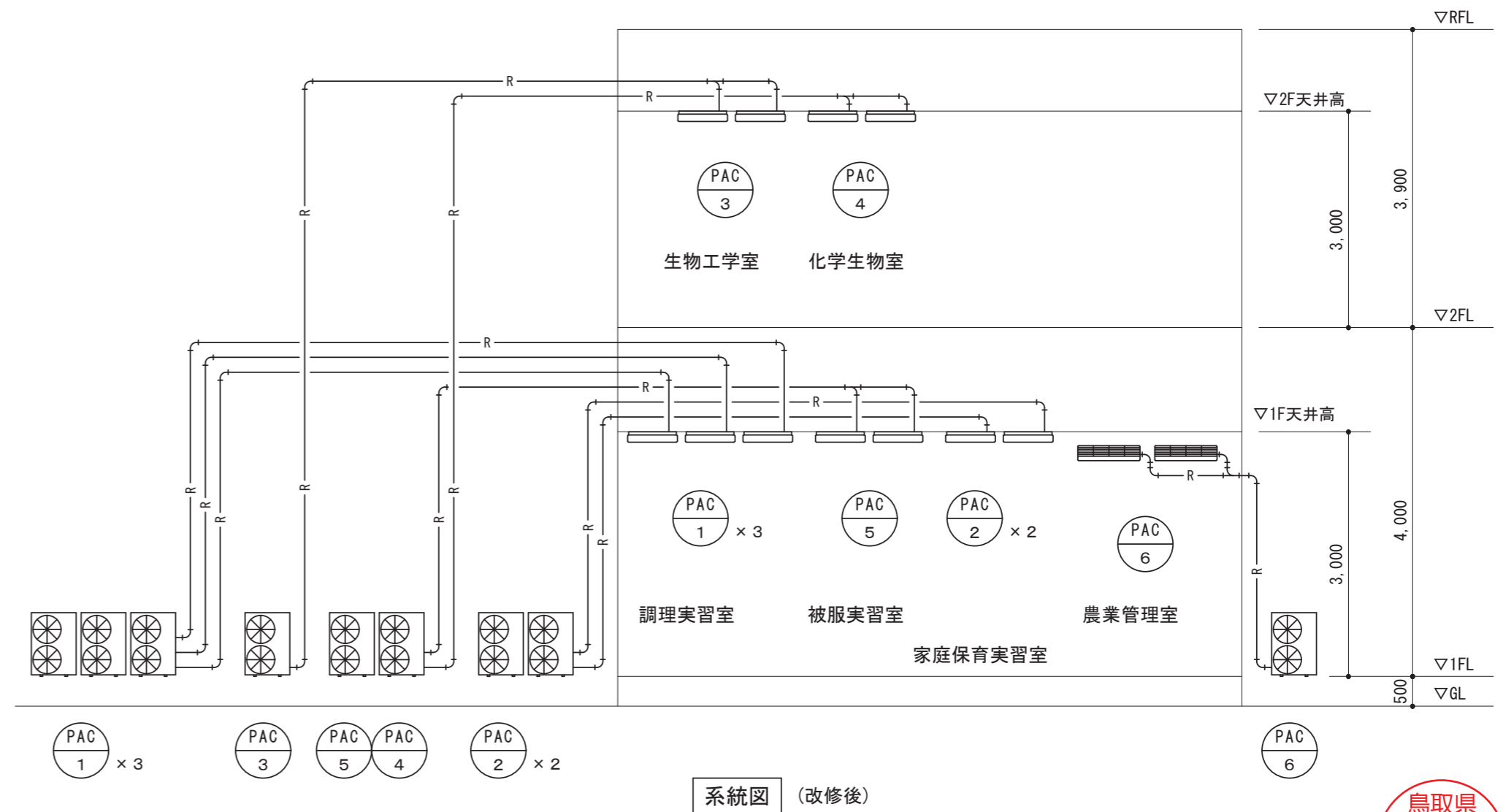
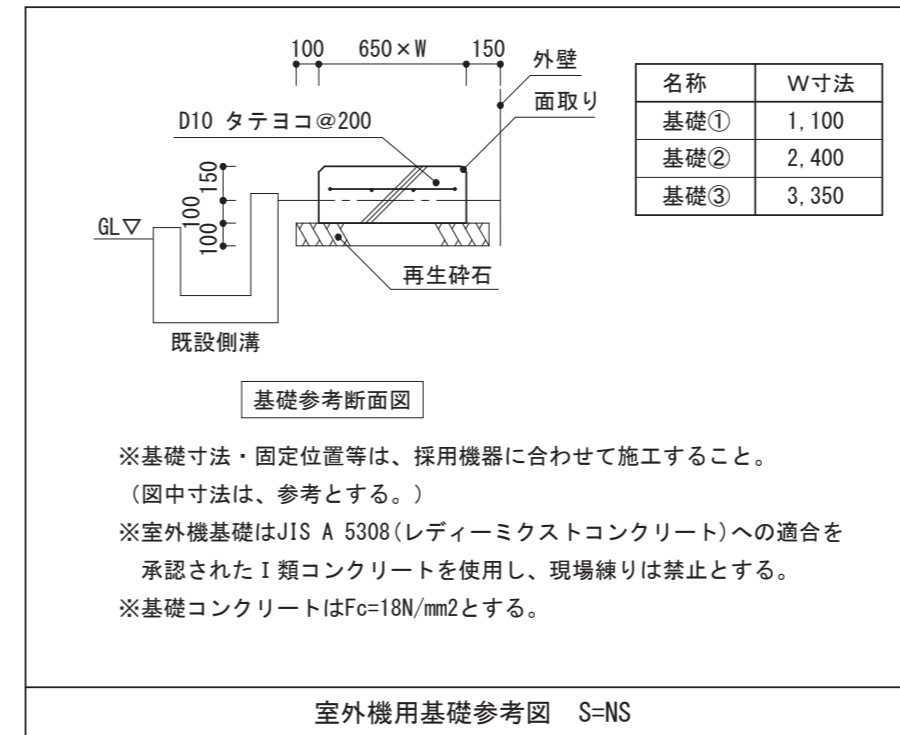
- ※エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数 $K_i=1.8$ 以下の機種を選定すること。
- なお、 K_i 値が1.8を超える機器は、高調波抑制対策を講じて換算係数を1.8以下にすること。
- ※機器の電源送りは別途電気設備工事とする。
- ※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
- ※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
- ※採用メーカーにより変更が必要となった場合は施工者負担で対応する。
- ※新設するエアコンは、必要に応じて冷媒の追加充填を行う事。
- ※基礎ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定すること。
- ※全てのエアコンを集中管理対象とするため、必要機器には集中管理アダプターを付属すること。
- ※冷媒管屋内外保温外装(樹脂製化粧ケース)は新設とする。
- ※冷媒管と並ぶ露出ドレン管は、原則として冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。
- ※エアコンはグリーン購入法適合品とする。
- ※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。

凡例

記号	名称	管種
— R —	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (銅管: JCDA-0009)
— D —	ドレン管	屋内一般: V P (JIS-K6741) 屋外露出: カラーV P (JIS-K6741) その他: V P (JIS-K6741)

保温仕様表

管種	場所	仕様
冷媒管	屋内露出	樹脂製保温化粧ケース
	屋外露出	樹脂製保温化粧ケース
ドレン管	天井内	φ-イーVII
	屋内露出	保温チューブ10t (樹脂製保温化粧ケース内)
	屋外露出	不要(カラーV P)



一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所
X.PLAN
 Mechanical & Electrical Engineers

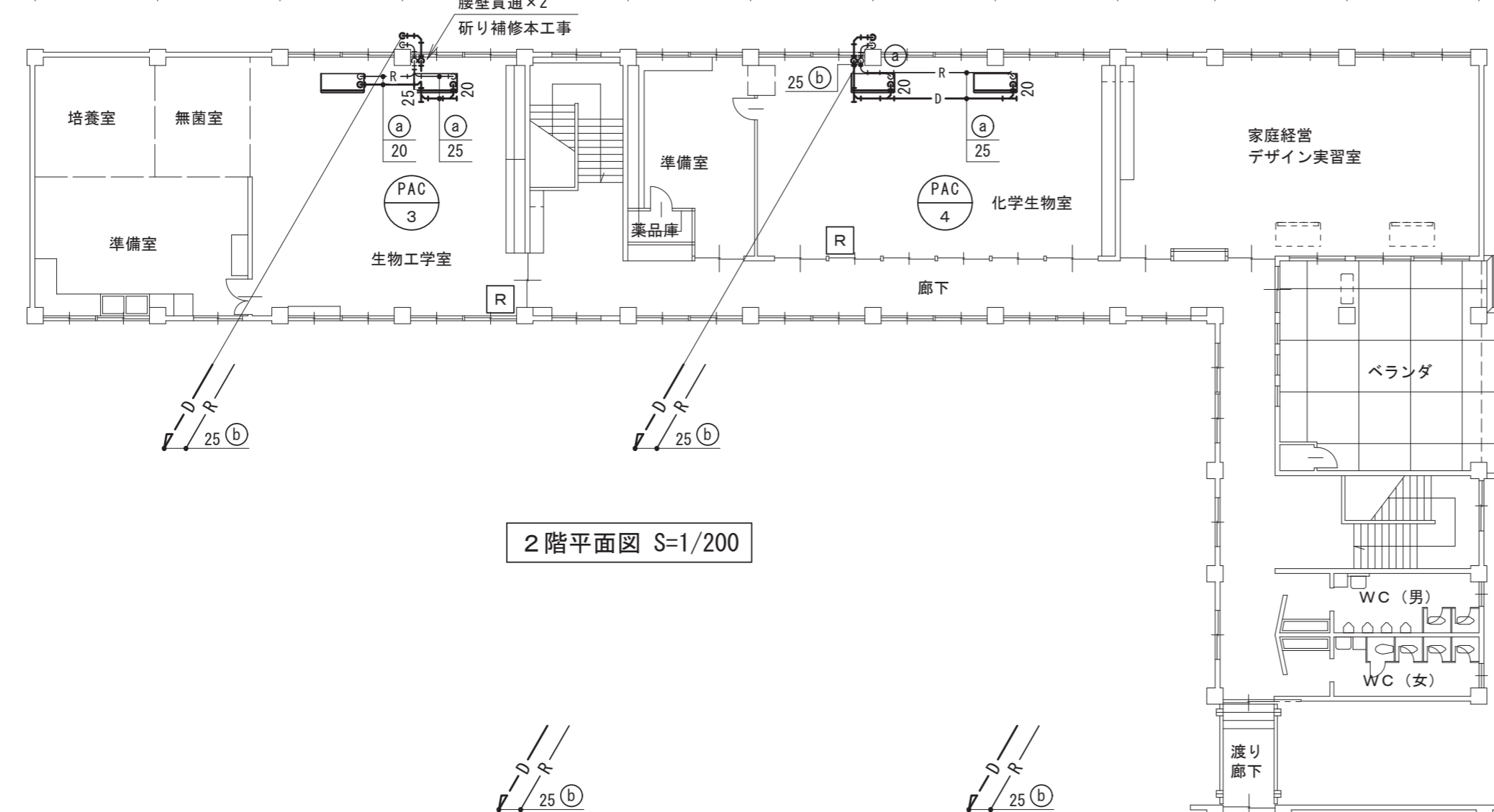
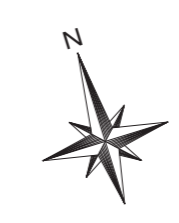
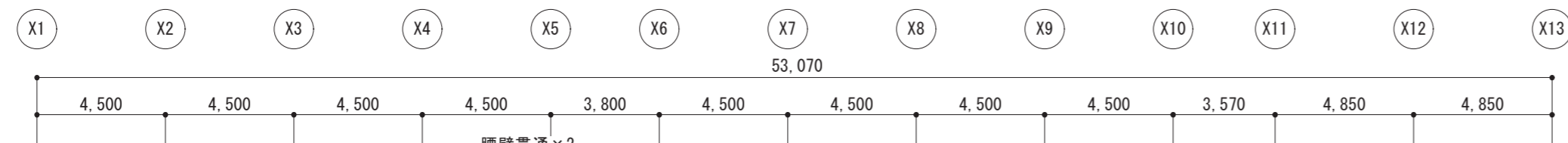
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	NS
田村	板倉	板倉	板倉	設計年月日	2026.02

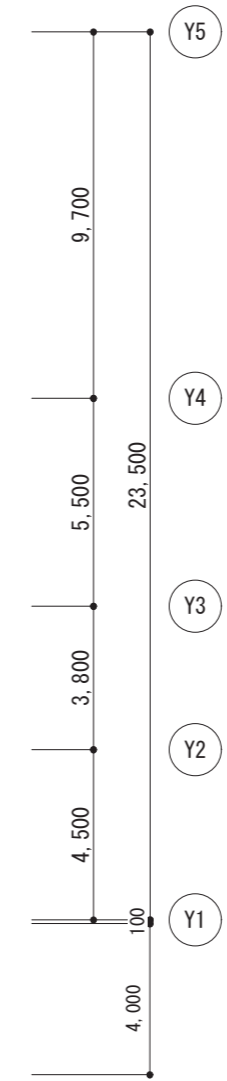
工事名称 県立倉吉農業高等学校特別教室棟空調設備改修工事(機械設備)

図面名称 冷暖房設備 機器表・凡例(改修後)

図面番号 M-04 / 12



2階平面図 S=1/200

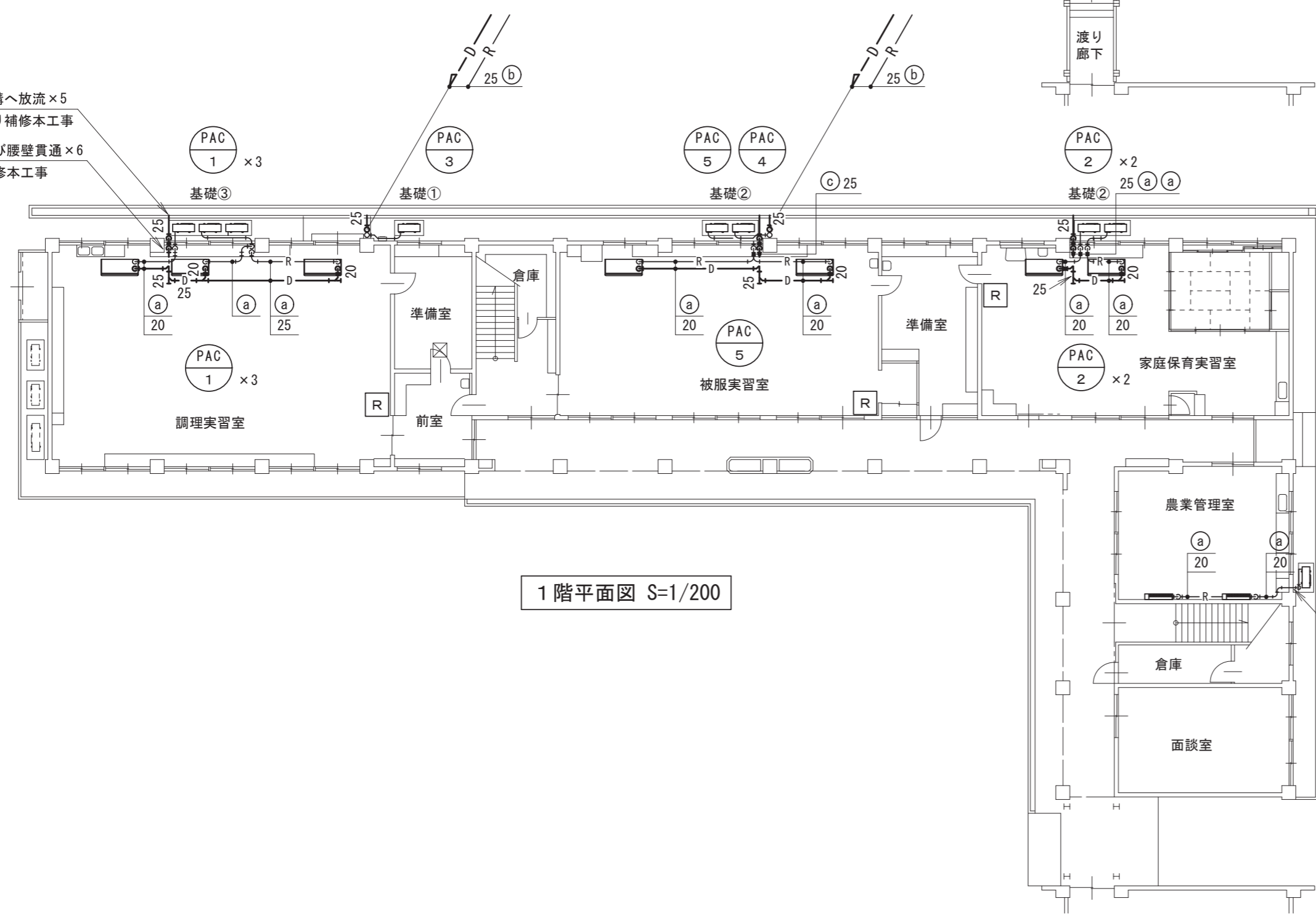


記号	冷媒配管サイズ (参考) (液管×ガス管)
(a)	9.52φ×15.88φ
(b)	9.52φ×25.40φ
(c)	12.70φ×25.40φ

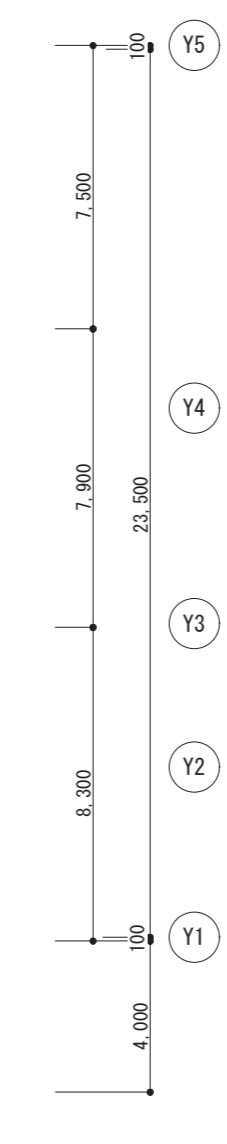
特記

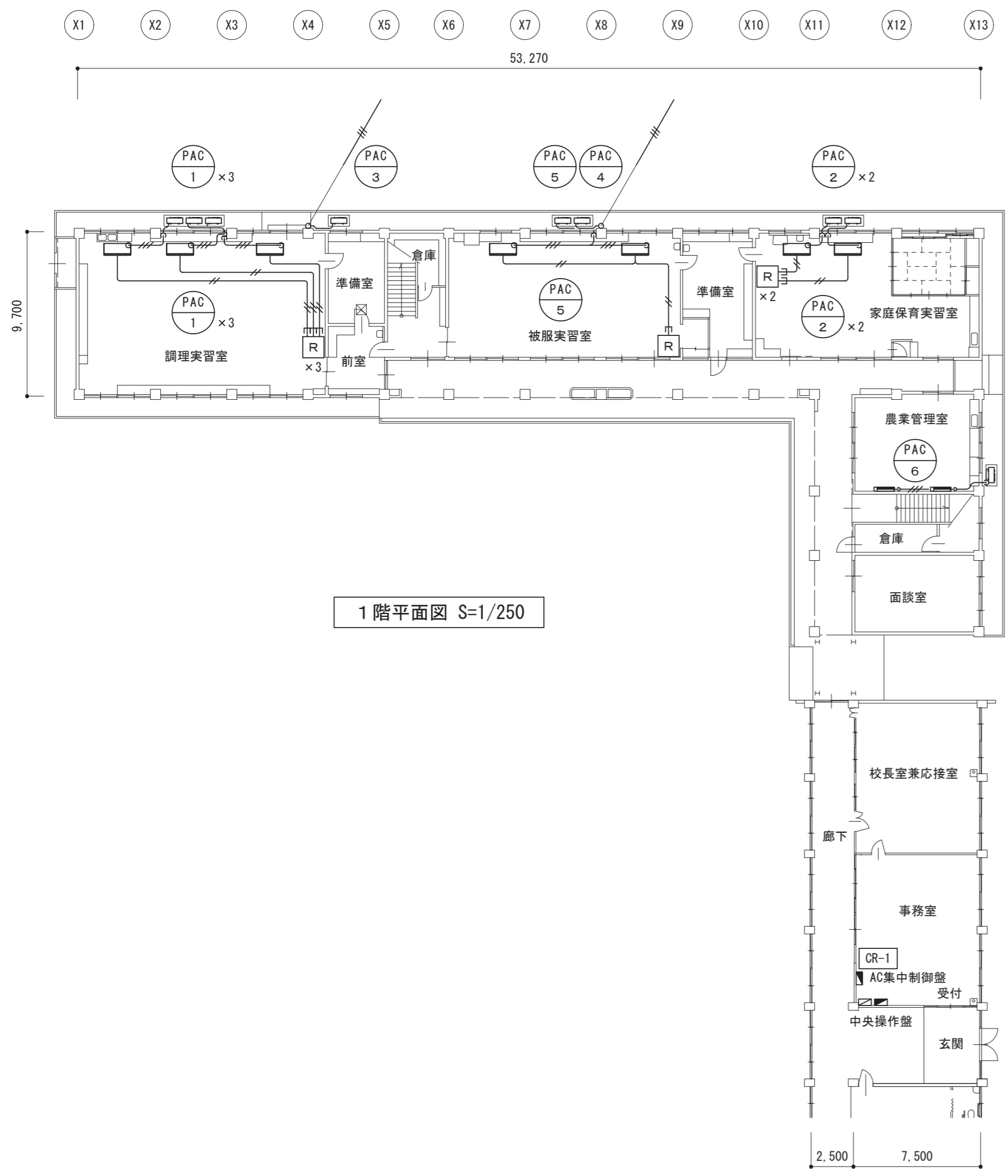
- ・図中の太線は新設対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ・図中特記無き配管は天井内配管を示す。
- ・冷媒管のサイズ、配線仕様は参考とする。
- ・屋外露出ドレン管はカラ-VPとする。
- ・原則として冷媒管と並ぶ露出ドレン管は、冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。
- ・既設壁貫通は、鉄筋位置を調査のうえ施工すること。(鉄筋切断となる場合は協議すること)
- ・作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。

側溝へ放流×5
 祈り補修本工事
 木棚及び腰壁貫通×6
 祈り補修本工事

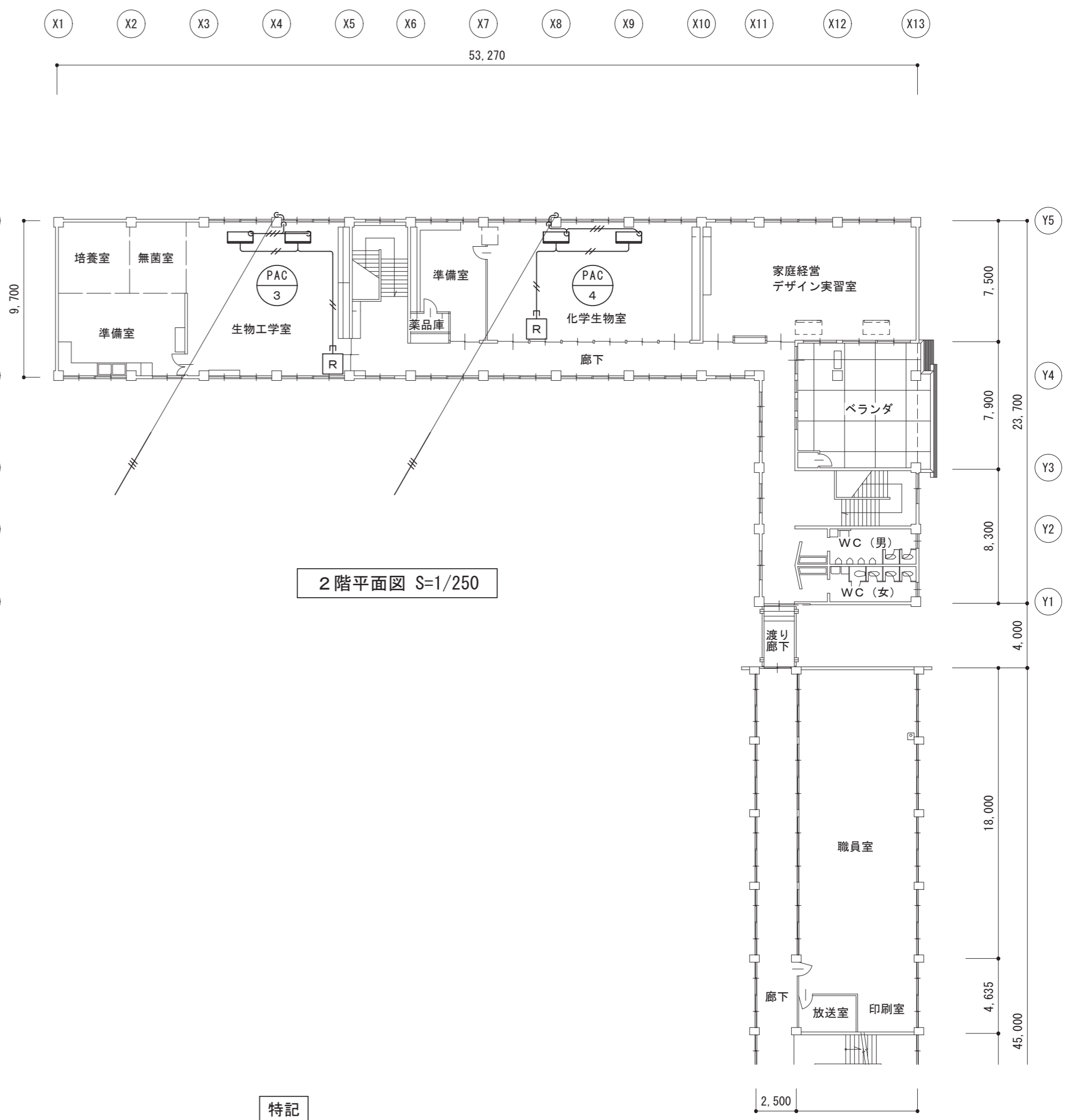


1階平面図 S=1/200





1階平面図 S=1/250



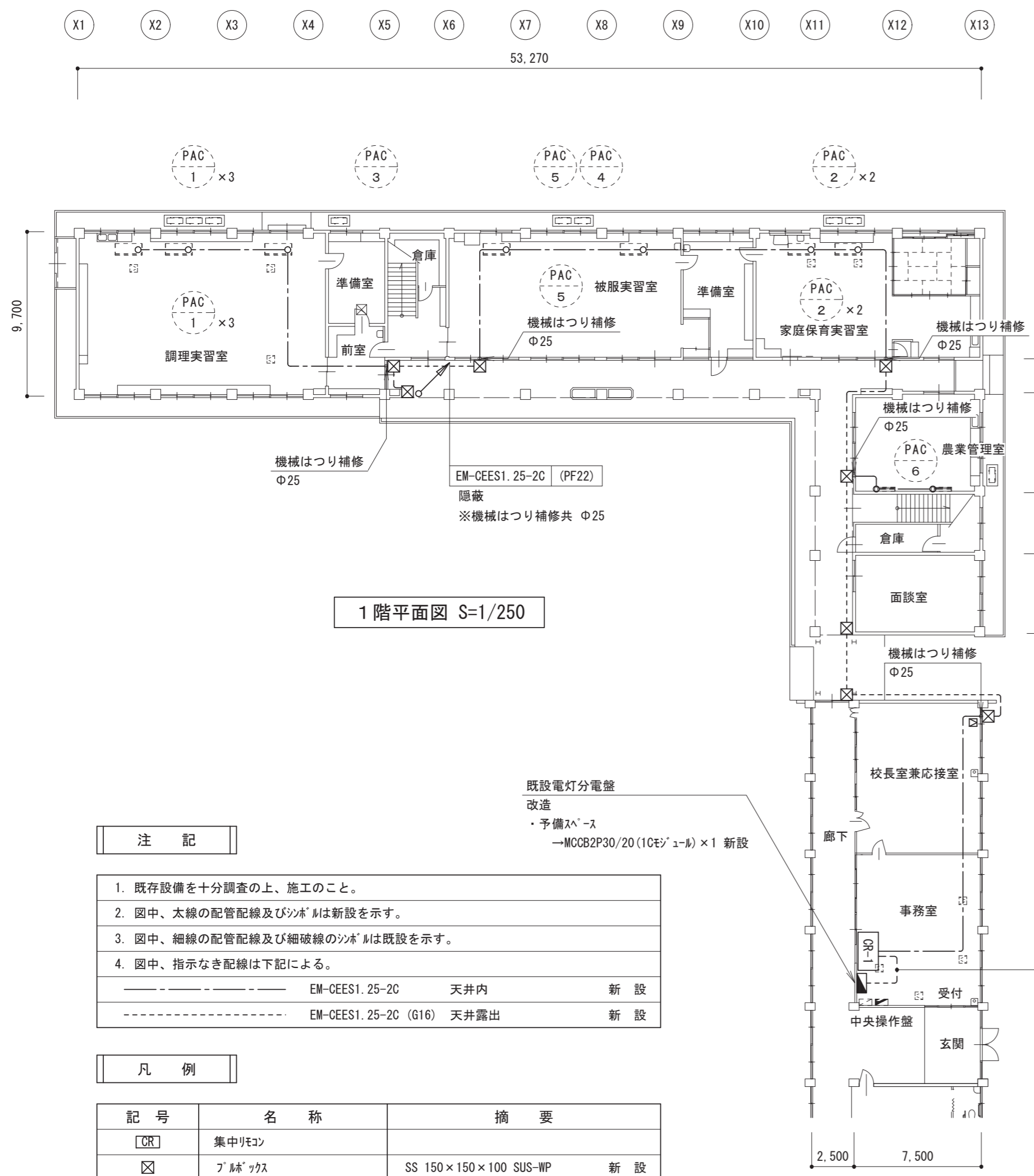
2階平面図 S=1/250

特記

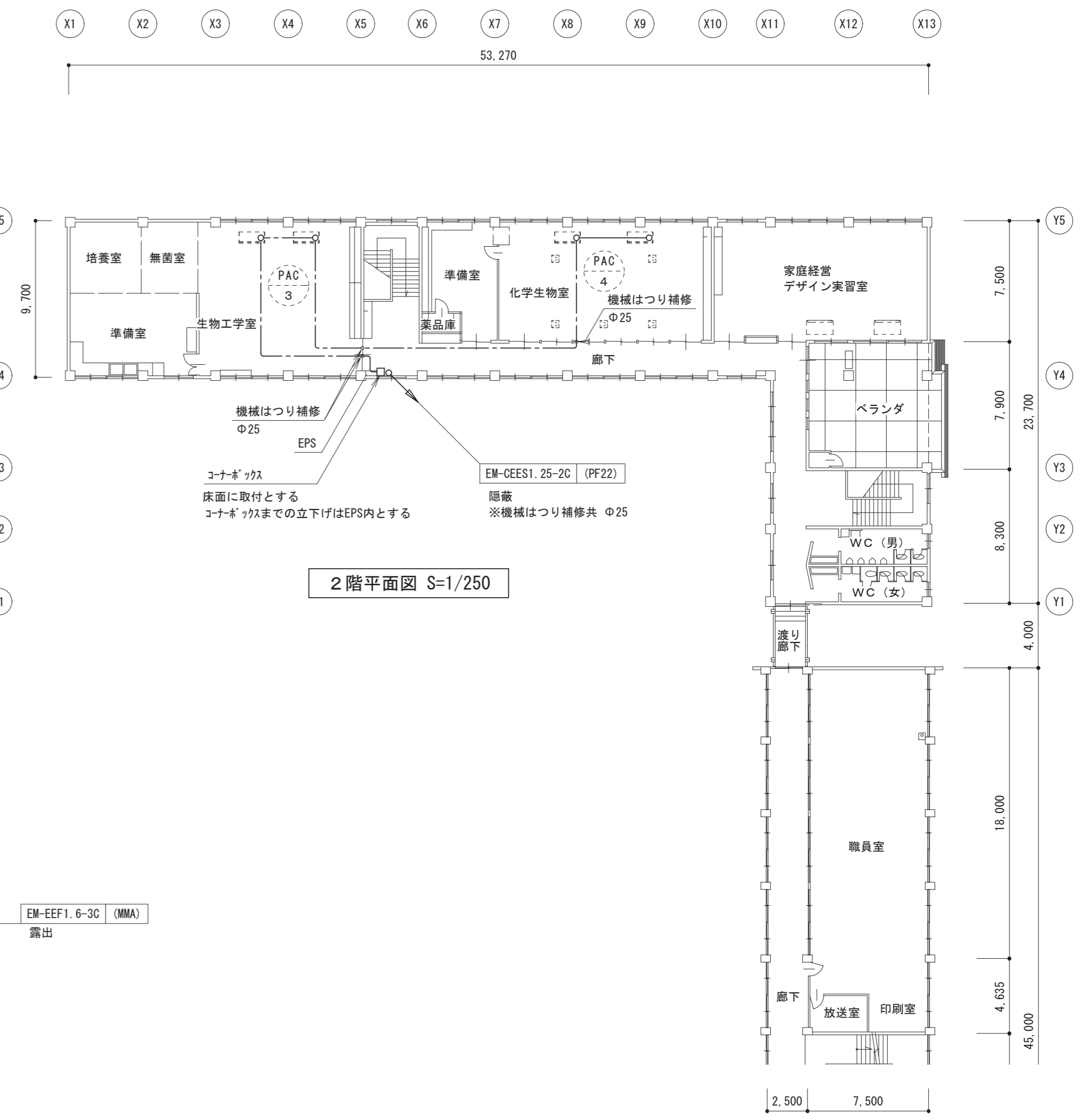
1. 太線は新設機器・配管・配線を示す。
2. 図中、R は新設ワイヤードリモコンを示す。
3. 図中、 リモコン配線はEM-MEES0.5-2C(天井ごしがし~管内)とする。
4. 図中、 エアコン内外渡り配線はEM-CEES2.0-3C(冷媒共巻)とする。
5. リモコン用スイッチボックス(2個用)と立下げ(1種金属線びA型)は、本工事とする。
6. 指示無き配線は天井内を示す。



	一級建築士事務所／建築設備設計事務所 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/250 (A2)	工事名称	県立倉吉農業高等学校特別教室棟空調設備改修工事(機械設備)	図面番号	M-06
	設計年月日	2026.02	図面名称	冷暖房設備(計装工事) 1・2階平面図(改修後)	図面番号	M-06	12				



1階平面図 S=1/250



2階平面図 S=1/250

注記

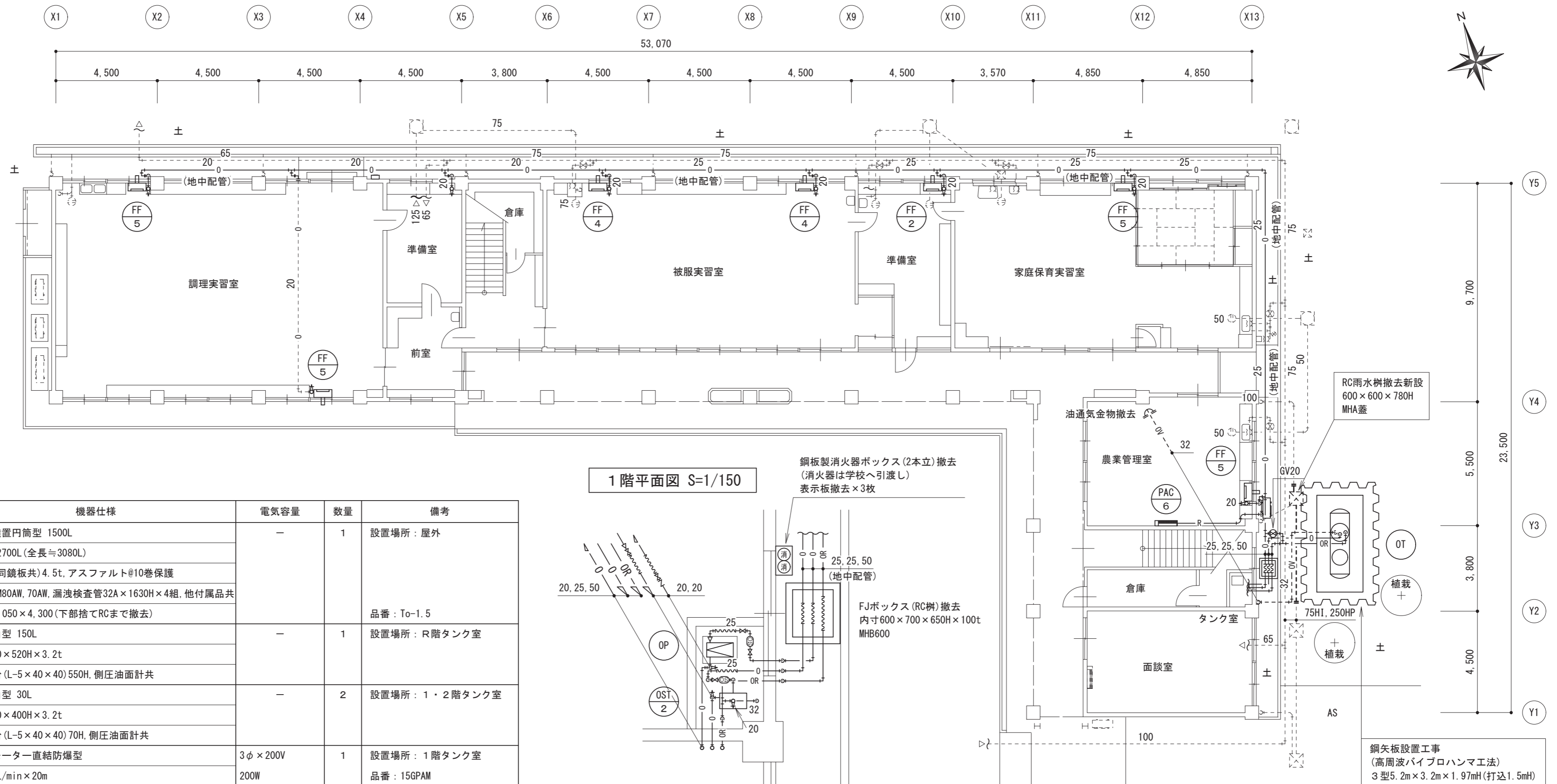
- 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
 - 図中、太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
 - 図中、細線の配管配線及び細破線のシンボルは既設を示す。
 - 図中、指示なき配線は下記による。
- | | | | |
|-----------|----------------------|------|----|
| ——— | EM-CEES1.25-2C | 天井内 | 新設 |
| - - - - - | EM-CEES1.25-2C (G16) | 天井露出 | 新設 |

凡例

記号	名称	摘要
[CR]	集中リコン	
☒	パネルボックス	SS 150×150×100 SUS-WP 新設
☐	天井点検口	450×450 新設
⊞	天井点検口	450×450 既設
○	機器電源部	

既設電灯分電盤
改造
・予備スペース
→MCCB2P30/20 (10センチ) ×1 新設



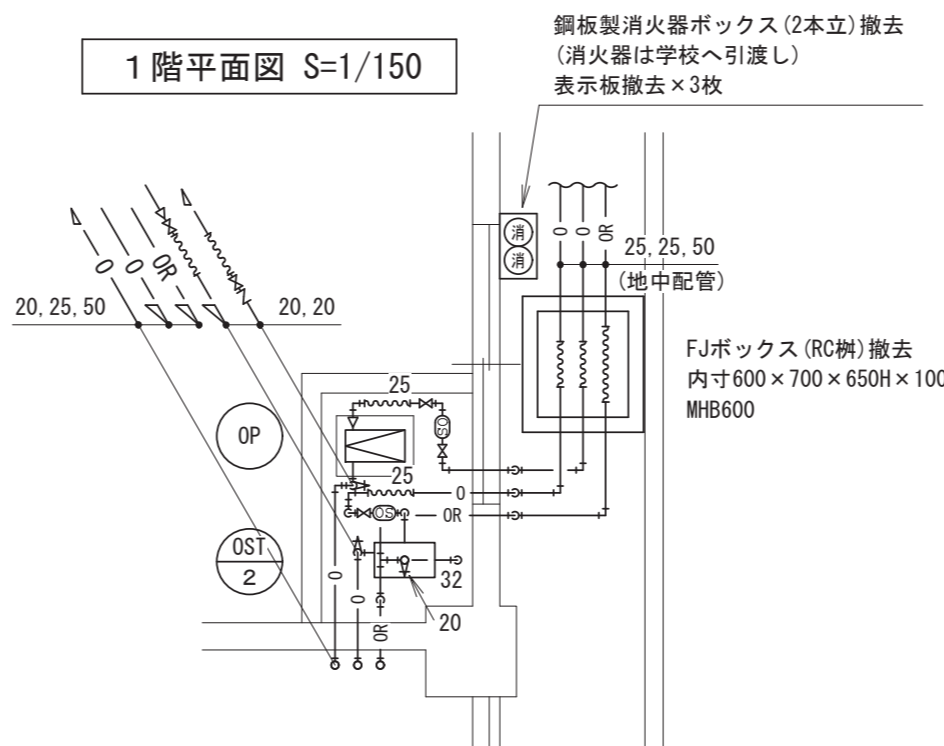


機器表 (改修前)

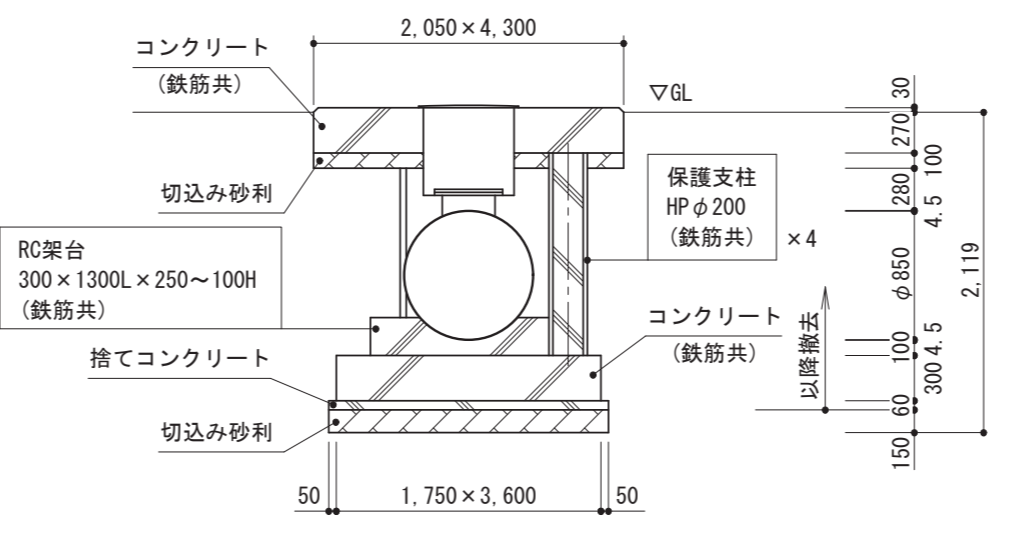
記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考
OT	地下オイルタンク (撤去)	鋼板製横置円筒型 1500L φ850×2700L (全長≒3080L) 鋼板厚 (同鏡板共) 4.5t, アスファルト@10巻保護 MH蓋-WPM80AW, 70AW, 漏洩検査管32A×1630H×4組, 他付属品共 RC基礎2,050×4,300 (下部捨てRCまで撤去)	-	1	設置場所: 屋外 品番: To-1.5
OST 1	オイル中継タンク (撤去)	鋼板製角型 150L 600×600×520H×3.2t 鋼製架台 (L-5×40×40)550H, 側圧油面計共	-	1	設置場所: R階タンク室
OST 2	オイル戸別タンク (撤去)	鋼板製角型 30L 400×230×400H×3.2t 鋼製架台 (L-5×40×40)70H, 側圧油面計共	-	2	設置場所: 1・2階タンク室
OP	油ギアポンプ (撤去)	灯油用モーター直結防漏型 15A×14L/min×20m	3φ×200V 200W	1	設置場所: 1階タンク室 品番: 15GPAM
FF 1	温風暖房機 (撤去)	FF型4,000kcal/h, パーナー白灯油焚0.54L/h 集中制御仕様, 給排気筒他付属品共	1φ×100V 50W (点火時112W)	1	設置場所: 2階デザイン実習室 品番: FF-5000T7 (F)
FF 2	温風暖房機 (撤去)	FF型6,370kcal/h, パーナー白灯油焚0.84L/h 集中制御仕様, 給排気筒他付属品共	1φ×100V 63W (点火時110W)	1	設置場所: 1階準備室 品番: FF-7000T7 (F)
FF 3	温風暖房機 (撤去)	FF型7,420kcal/h, パーナー白灯油焚1.00L/h 集中制御仕様, 給排気筒他付属品共	1φ×100V 60.7W (点火時46W)	6	設置場所: 2階生物工学室他 品番: FF-10G2 (F)
FF 4	温風暖房機 (撤去)	FF型8,410kcal/h, パーナー白灯油焚1.11L/h 集中制御仕様, 給排気筒他付属品共	1φ×100V 63W (点火時110W)	2	設置場所: 1階被服実習室 品番: FF-10000T7 (F)
FF 5	温風暖房機 (撤去)	FF型13,000kcal/h, パーナー白灯油焚1.75L/h 集中制御仕様, 給排気筒他付属品共	1φ×100V 98W (点火時77W)	4	設置場所: 1階調理実習室他 品番: FF-15G7 (F)
PAC 6	パッケージエアコン (撤去)	冷房専用壁掛型 定格冷房能力: 5.6kW 冷媒R407C×2.8kg ワイヤレスリモコン, 屋外機用鋼製平架台300H, 緑石他共 冷媒配管: 9.5φ (液)×15.88 (ガス), ドレン配管: 20A	1φ×200V COMP: 1.5kW FAN内: 30W FAN外: 60W	1	設置場所: 1階農業管理室 品番: (内)PK-P56GA (外)PU-P56SGA

注記
※機器の電源取り外しは別途電気設備工事とする。
※撤去する油管及びオイルタンクは内部洗浄を行う。

1階平面図 S=1/150



タンク室平面詳細図 S=1/50

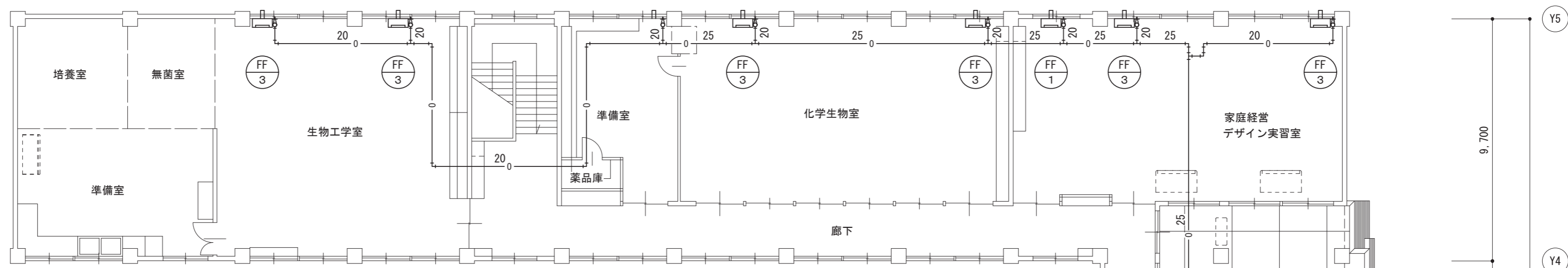
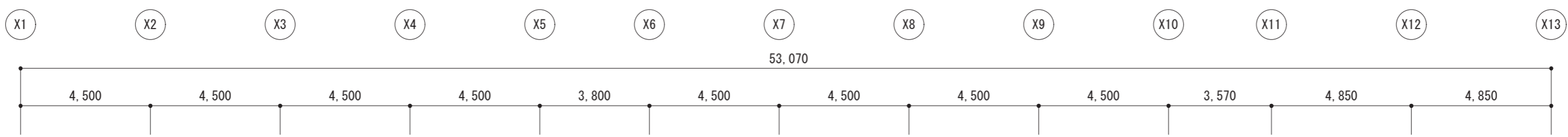


地下オイルタンク断面詳細図 S=1/50

特記

- 図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示す。
- 図中の細線は残置・再利用を示す。
- 埋設物撤去後は掘削土及び真砂土にて埋戻しを行う。
- 露出部分撤去跡はモルタル, コーキング剤などで補修を行う。
- 地下オイルタンク内の灯油残油は100L程度とし抜き取り処分する。
- 壁など撤去跡補修は監督員と協議する。

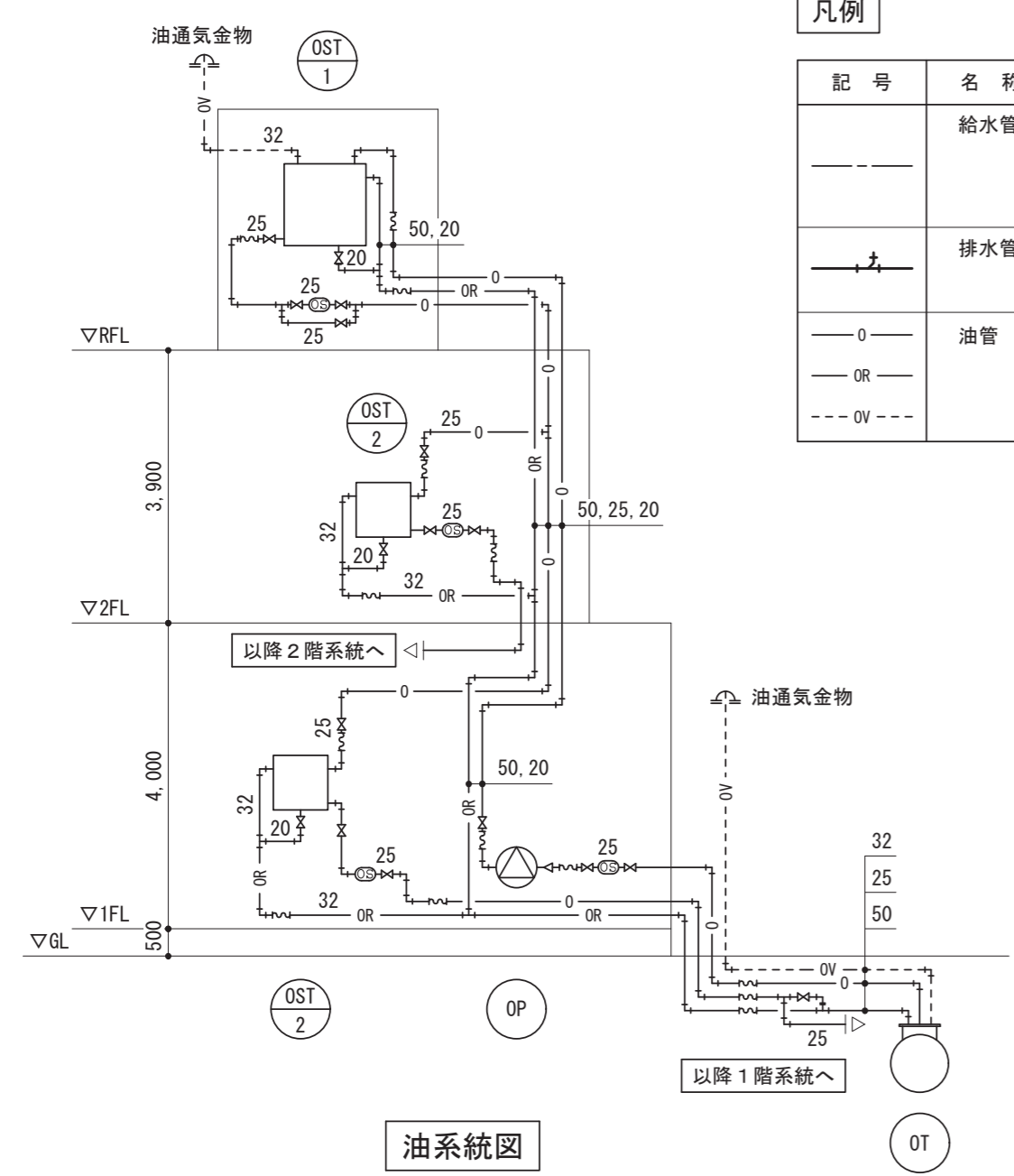




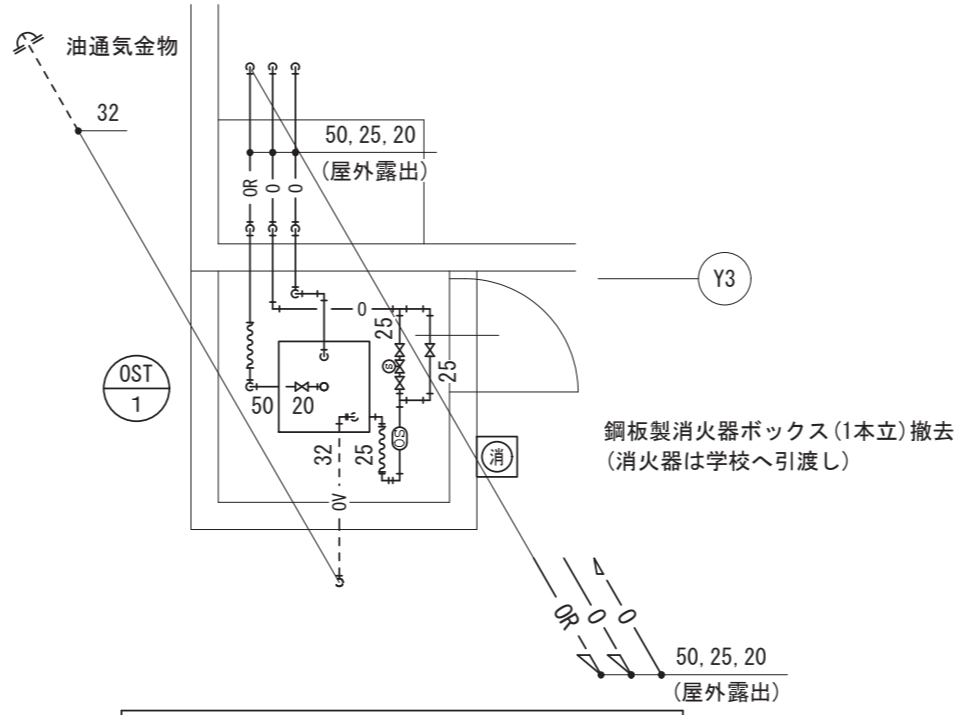
2階平面図 S=1/150

凡例

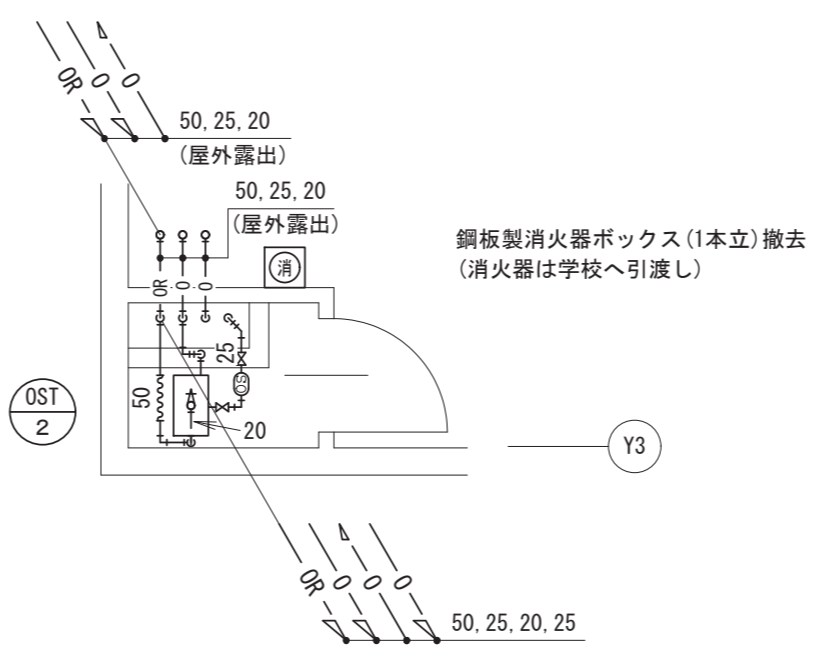
記号	名称	管種
—	給水管	屋内一般：SGP-VB 土間配管：SGP-VD 屋外地中：HI-VP
—	排水管	屋内一般：VP 屋外地中：VP, 200以上VU, HP
—	油管	屋内一般：SGP-黒 屋外露出：SGP-黒 屋外地中：PLP



油系統図



R階タンク室平面詳細図 S=1/50



2階タンク室平面詳細図 S=1/50

特記

- 図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示す。
- 露出部分撤去跡はモルタル、コーキング剤などで補修を行う。



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

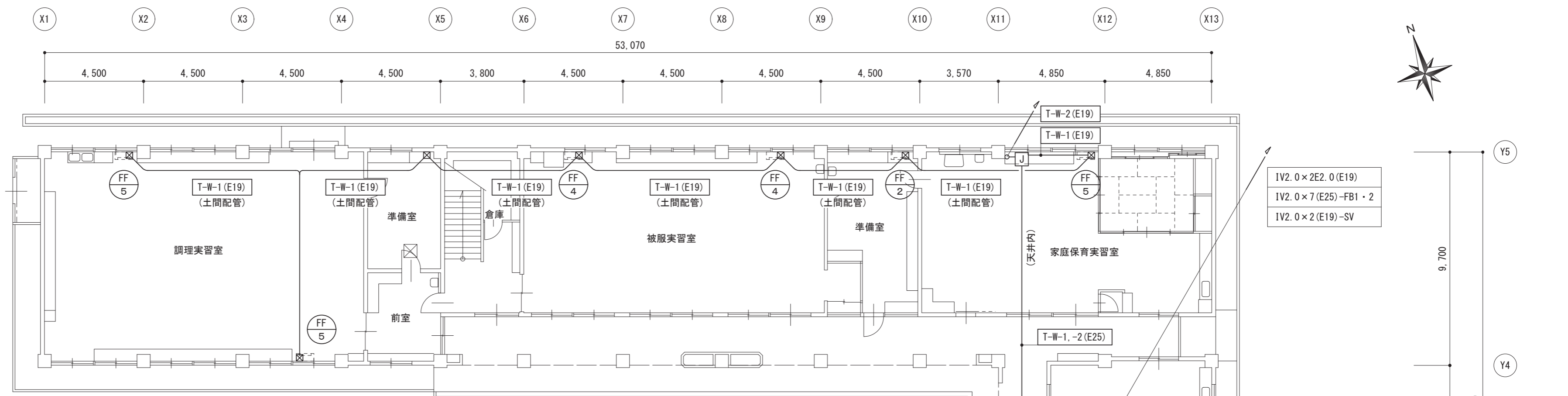
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

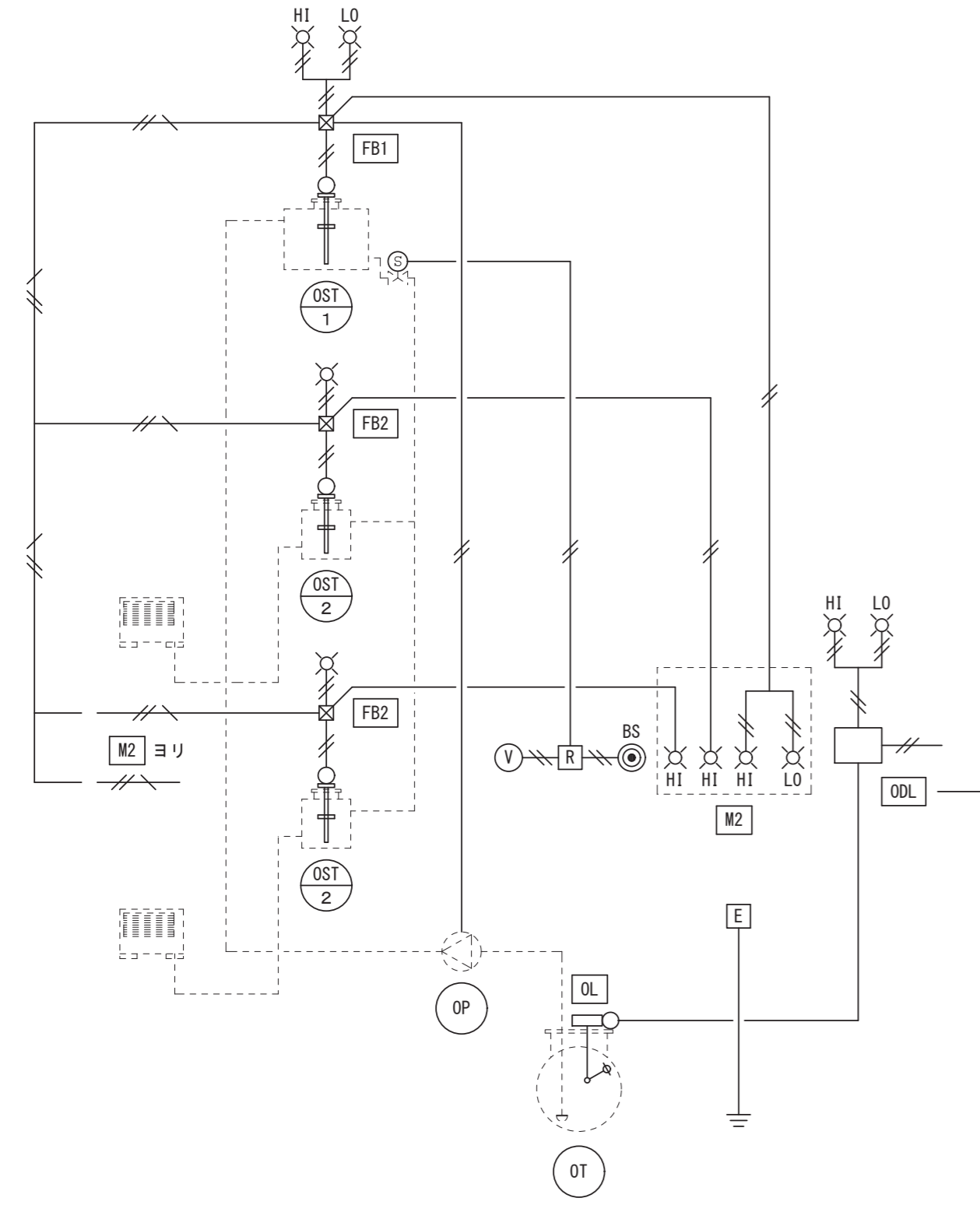
縮尺 S=1/150・50
設計年月日 2026.02

工事名称 県立倉吉農業高等学校特別教室棟空調設備改修工事(機械設備)
図面名称 暖房設備 2階配管平面図(改修前)

図面番号 M-09 / 12



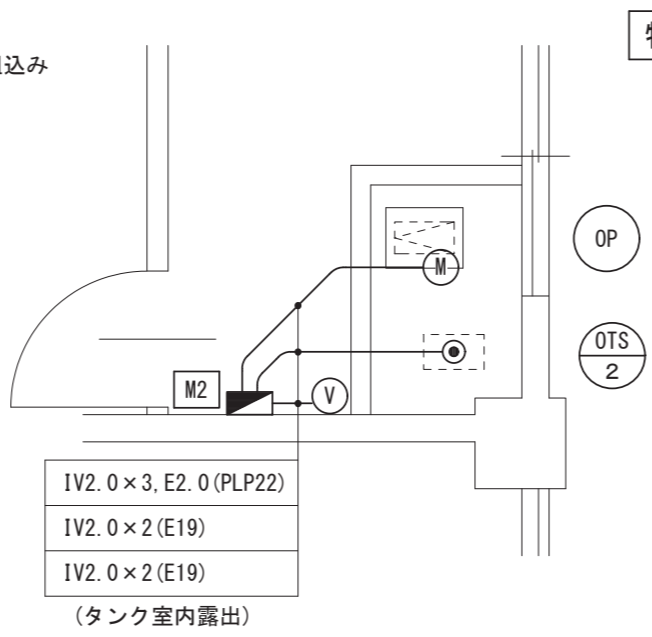
1階平面図 S=1/150



オイル制御系統図

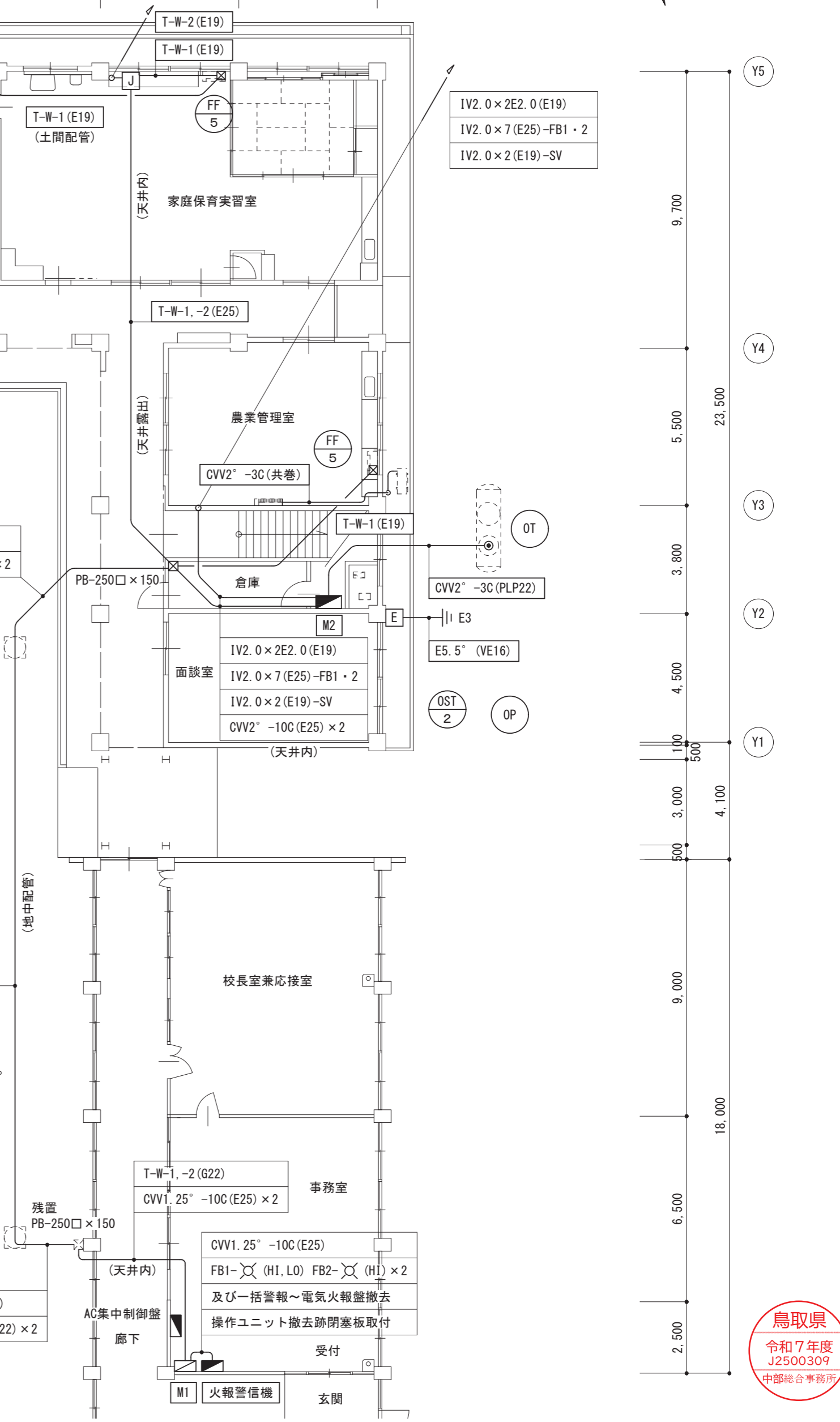
凡例

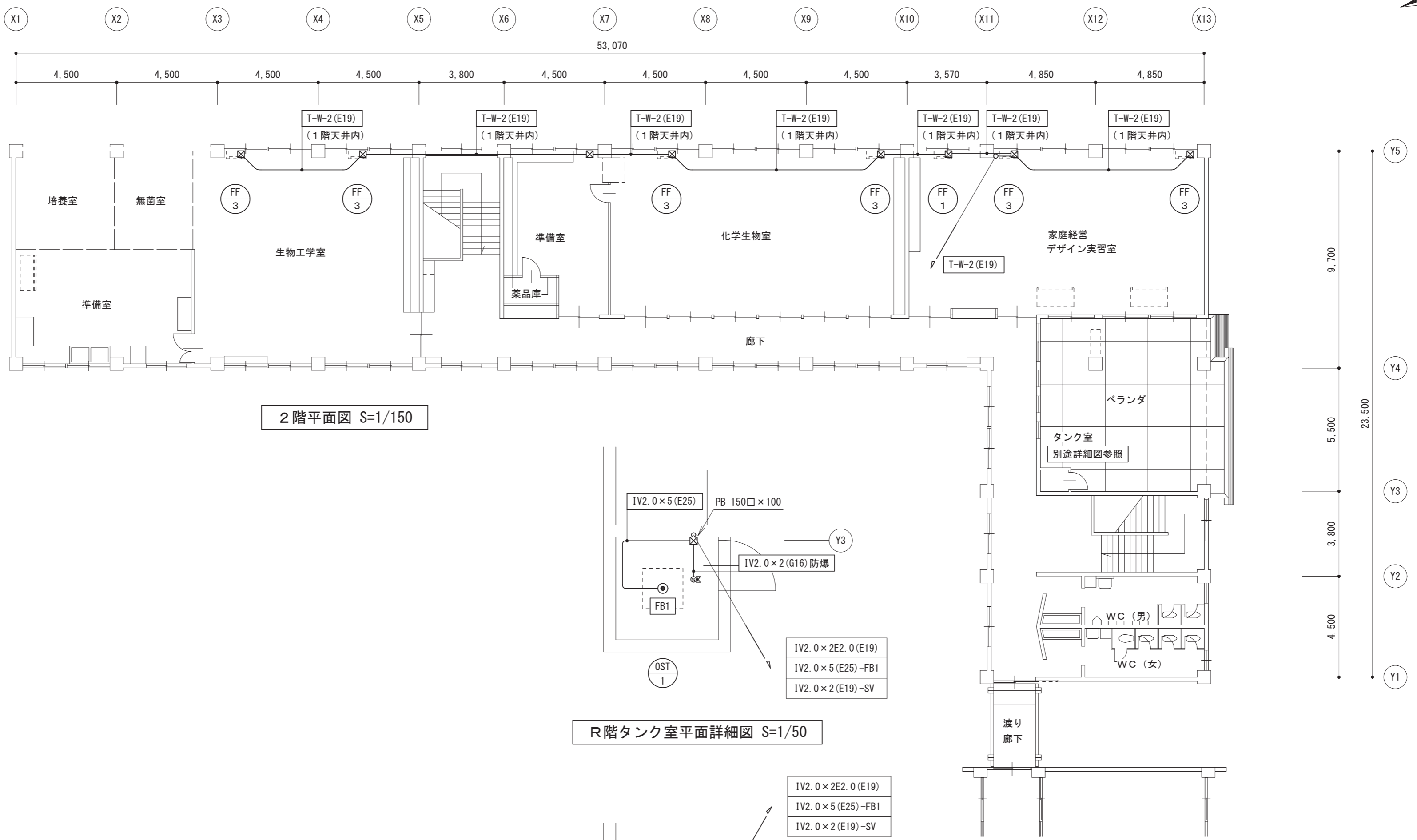
記号	名称	型番	備考
M1	中央操作盤 残置		壁掛T型
M2	油ポンプ盤 撤去		壁掛T型 500×200×1000H
ODL	油面指示装置 残置	EL43	M1 に組み込み
FB1	油面制御装置 撤去	SL41型	FS-SUS製 (防爆型)
FB2	油面制御装置 撤去	SL12A型	FS-SUS製 (防爆型)
SV	緊急遮断電磁弁 撤去		油用防爆型
R	補助リレー 撤去	MY	M2 に組み込み
V	感震装置 撤去	V725	位置BOX-0B44C付
BS	緊急遮断スイッチ 残置		押鈕 M1 組み込み
E	ローリーアース 撤去		アース端子WP付, 位置BOX-0B44C付
⊗	アウトレットボックス	OB44	4角中浅C付, ノズルプレート共
J	ジョイントボックス	OB54	4角中浅C付, カバープレート共
—	配管配線		T-W-FF用信号線 (UL-2045#16)



タンク室平面詳細図 S=1/50

- 特記
- FF暖房設備の撤去に伴い
不要な盤・配管・配線(太線)は撤去処分とする。
 - 土間・地中埋設電線管は残置とする。
 - 不要な撤去跡は化粧カバー等にて補修を行う。



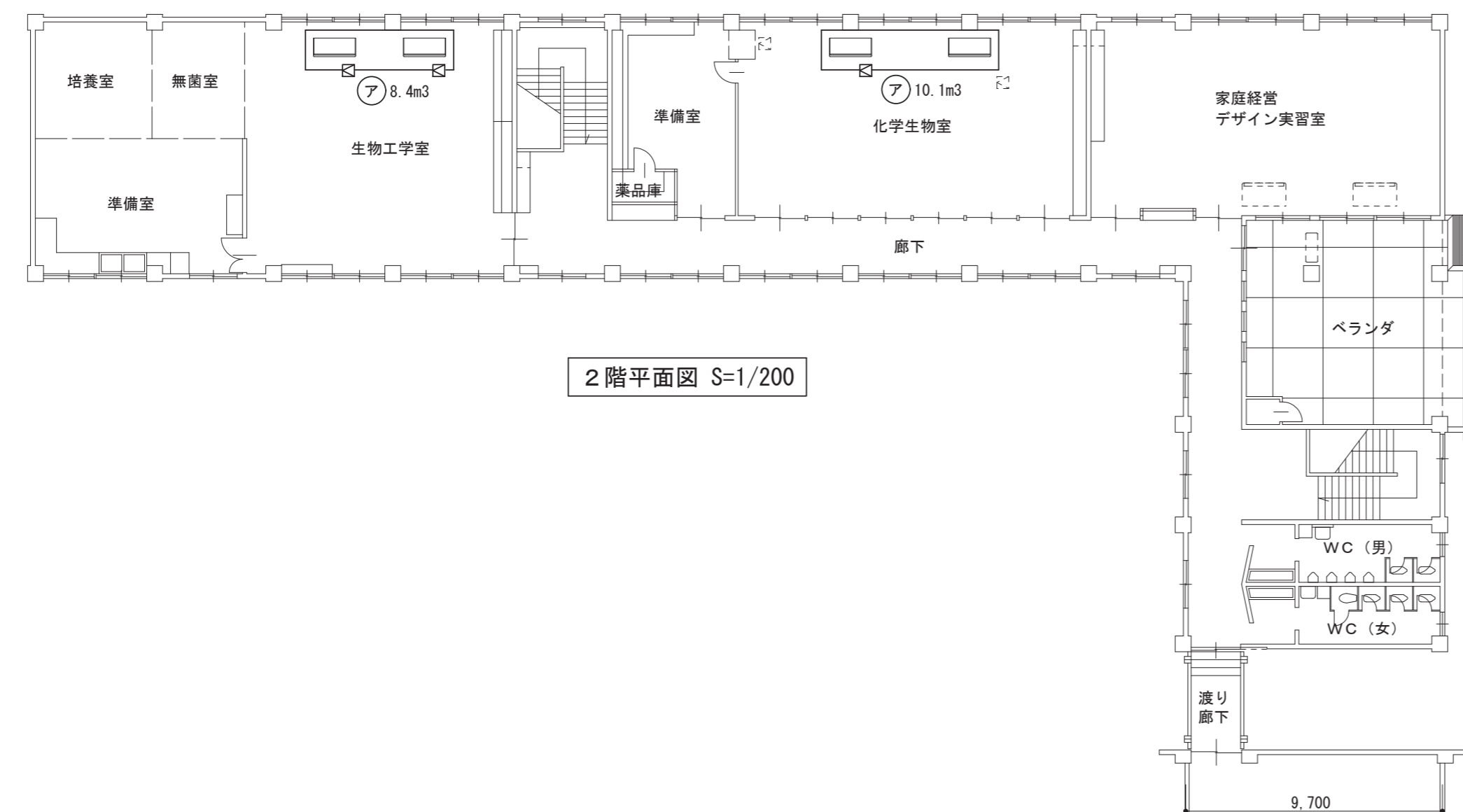
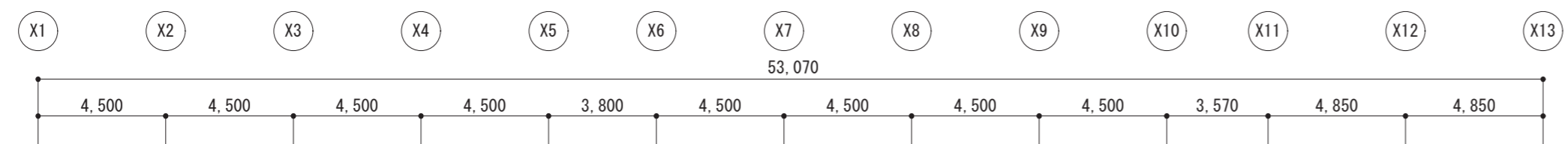


特記

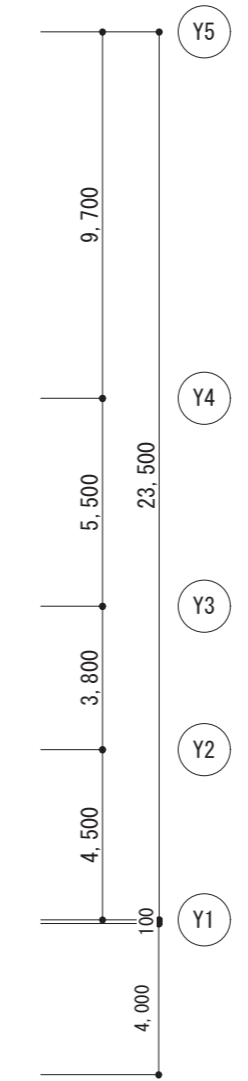
1. 太線は撤去機器・配管・配線を示す。
2. 不要な撤去跡は化粧カバー等にて補修を行う。



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical & Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	工事名称	図面番号 M-11 / 12
						S=1/150・50 設計年月日 2026.02	県立倉吉農業高等学校特別教室棟空調設備改修工事(機械設備) 図面名称 冷暖房設備(計装工事) 2階平面図(改修前)	



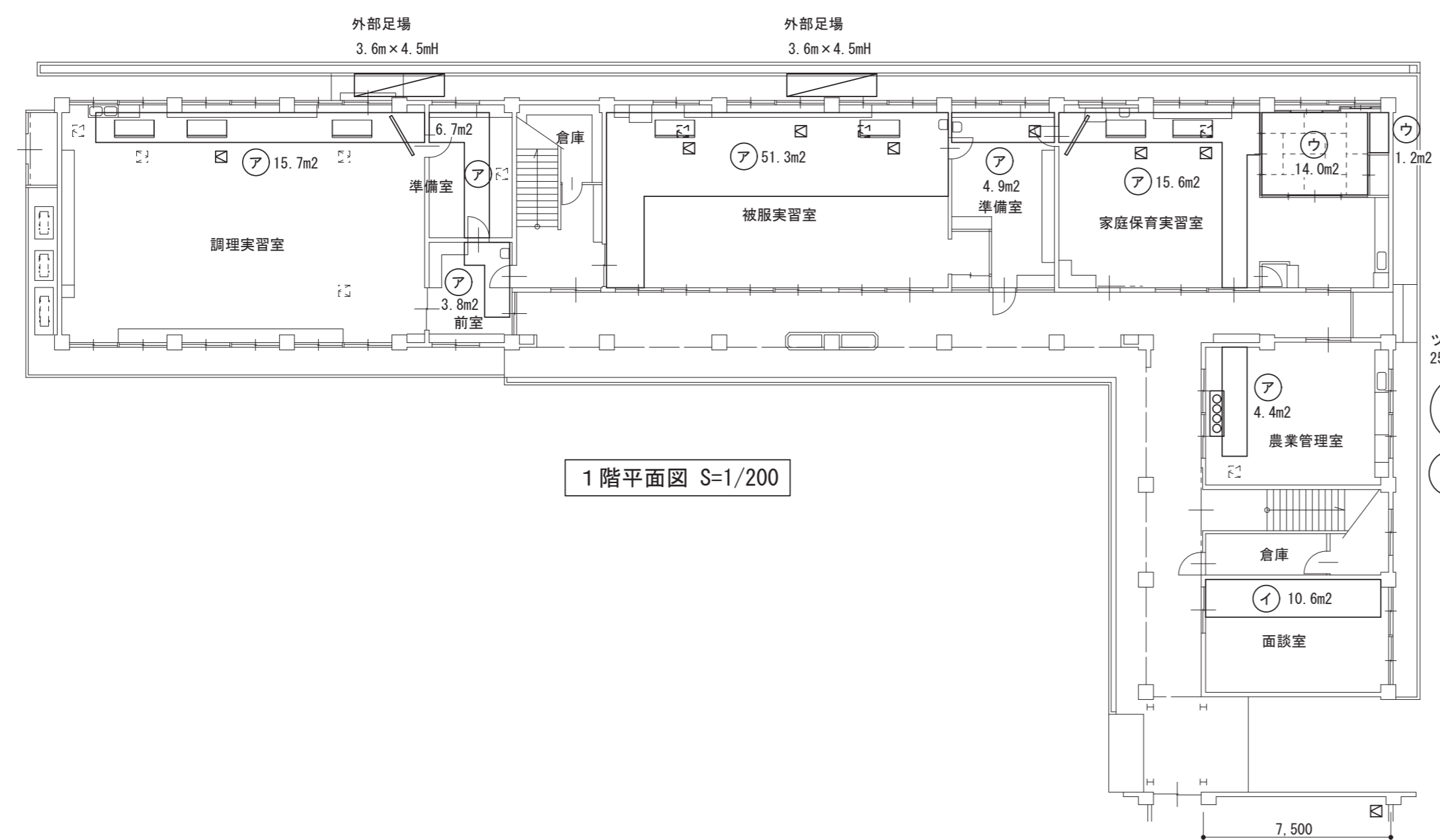
2階平面図 S=1/200



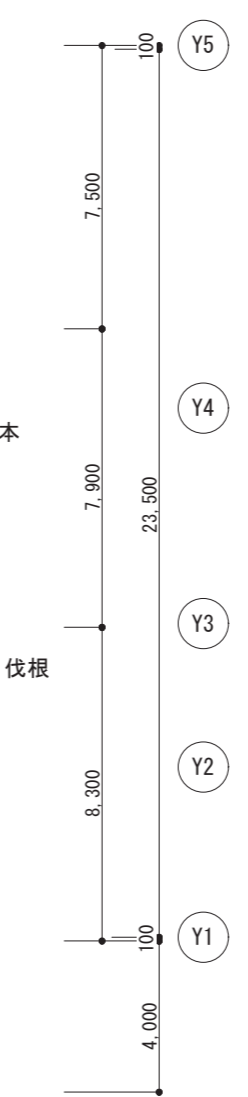
記号	天井仕上表(撤去)
ア	石膏ボード9mm下貼+岩綿吸音板12mm303×606貼
イ	化粧石膏ボード(ジブトーン)9mm
記号	天井仕上表(新設)
ア	石膏ボード9.5mm下貼+岩綿吸音板12mm303×606貼
イ	化粧石膏ボード(ジブトーン)9.5mm
※軽量鉄骨下地共撤去新設とする。	
記号	天井仕上表(取外し再取付)
ウ	化粧石膏ボード貼柵数目9mm
※軽量鉄骨下地はそのままとする。	

凡例

- ※ 細破線は既設天井点検口を示す。
- ※ 太破線は既設天井点検口撤去を示す。
- ※ 太実線は新設天井点検口450φを示す。
- ※ 太実線は既設スクリーンを示し、取外し再取付とする。
- ※ ○○○○ 太実線は既設サーキュレーターファン(810m3/h×50w)を示し、取外し再取付とする。
- ※ 1988年(昭和63年)完成のため天井材・外壁材にアスベストが含まれている可能性があるため分析検査を行うこと。
- ※ アスベストが含まれていた場合は、関係法令に基づき適切に施工し、処分費については監督員と協議すること。(本設計はアスベスト処分費を見込んでいない)



1階平面図 S=1/200



配置図



県立倉吉農業高等学校管理教室棟 男子更衣室エアコン更新工事

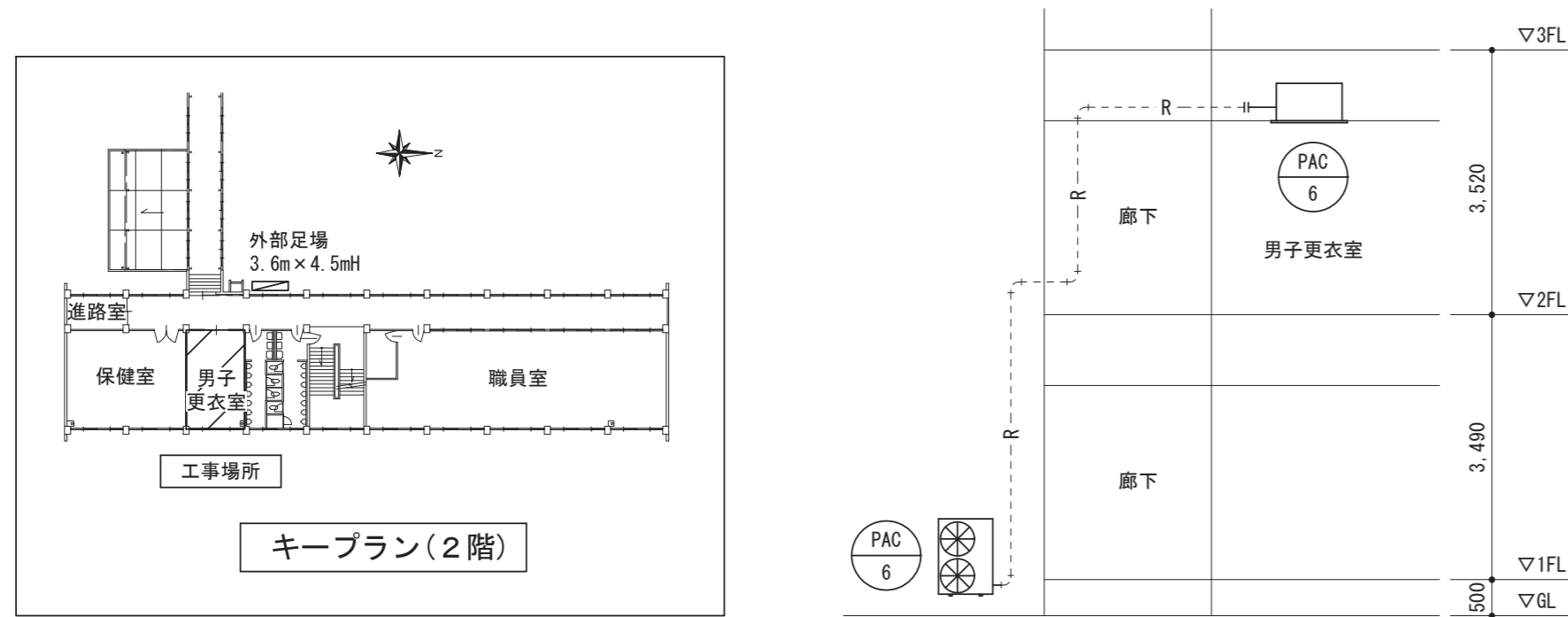
図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M-00	表紙・図面リスト	NS
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M-03	配置図・付近見取図	1/1500
M-04	冷暖房設備 機器表(改修前・改修後)・2階平面図	1/100
E-01	空調機電源設備 平面図(改修後)	1/100



一般 共通 事項	21 鋼管類の防食処置	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベトロラム系 ● プレブルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びビシト <p>● 標準図(施工3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (1)絶縁フラランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製(球形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形(ステンレス製) <p>※ ペローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スリーブ形 <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、熔融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所() 	1 空気調和設備	1 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件</th> <th colspan="4">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0℃</td> <td>50.2%</td> <td>28.0℃</td> <td>成り行き%</td> <td>℃</td> <td>成り行き%</td> <td>℃</td> <td>成り行き%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.4℃</td> <td>78.5%</td> <td>19.0℃</td> <td>成り行き%</td> <td>℃</td> <td>成り行き%</td> <td>℃</td> <td>成り行き%</td> </tr> </table>		外気条件				室内(調整目標値)				一般		一般		一般		一般		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	36.0℃	50.2%	28.0℃	成り行き%	℃	成り行き%	℃	成り行き%	冬季	-0.4℃	78.5%	19.0℃	成り行き%	℃	成り行き%	℃	成り行き%	6 衛生器具設備	1 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>※ 小便器一体型</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小便器分離型 <p>● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>※ 個別感知方式 (● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手動式
		外気条件					室内(調整目標値)																																																				
		一般		一般			一般		一般																																																		
		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																		
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																			
	夏季	36.0℃	50.2%	28.0℃	成り行き%	℃	成り行き%	℃	成り行き%																																																		
	冬季	-0.4℃	78.5%	19.0℃	成り行き%	℃	成り行き%	℃	成り行き%																																																		
	22 絶縁継手		2 冷却水管	2 冷却水管	※ SGP(白) ● SGP-V A ● SGP-P A	7 給水設備	1 量水器	<p>(ア)観メーター ※ 借用 ● 買収 (※ 直読 ● 遠隔表示)</p> <p>● 子メーター ※ 買収 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP-V B ● SGP-P B ● S U S 3 0 4 ● S U S 3 1 6</p> <p>● H I V P ● 架橋ポリエチレン管</p>																																																			
	23 防振継手		3 冷水・温水・冷温水管	3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP(白) ● SGP-H V A ● ステンレス鋼管(SUS304)	2 配管材料	2 配管材料	<p>(イ)土間下配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● S U S 3 0 4 ● S U S 3 1 6</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● S U S 3 0 4 ● S U S 3 1 6</p> <p>● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5K(受水槽以降の配管に使用) ● 10K(公営水道に直結する配管に使用) <p>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)</p> <p>● 設置に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。</p>																																																			
	24 伸縮管継手		4 膨張・空気抜・補給水管	4 膨張・空気抜・補給水管	● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る)	3 弁類	3 弁類	<p>※ SGP(白) ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>※ SGP(黒)</p> <p>※ S T P G 3 7 0 - S c h 4 0 (黒) ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <p>● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●</p> <p>※ SGP(白) ● V P</p> <p>※ 5K ● 10K</p> <p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防塵ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</p> <p>※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト</p> <p>● 長方形ダクト ● コーナールボルト工法(● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)</p> <p>(長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。)</p> <p>● アングルフランジ工法</p> <p>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるような勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。</p> <p>形式はビーター管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空気調和機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● S S 4 0 0 (※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS (※ 1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付け可 ● 取付け不可 ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付け可 ● 取付け不可</p> <p>油面計はゲージ式(側圧計)とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p>																																																			
25 塗装		5 蒸気給水管	5 蒸気給水管	※ SGP(黒)	8 排水設備	1 配管材料	<p>(ア)屋内汚水管 ● V P ● R F - V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● V P ● R F - V P ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● V P (水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ● V P ● R F - V P ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● V P ● R F - V P ● V U (地中) ● R E P - V U (地中)</p> <p>● R S - V U ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付け不可</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p>																																																				
26 ステンレス鋼管の接合方法		6 蒸気温水管	6 蒸気温水管	※ S T P G 3 7 0 - S c h 4 0 (黒) ● ステンレス鋼管(SUS304)	2 満水試験継手	2 弁類	<p>● SGP-H V A ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</p> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p>																																																				
27 溶接配管の検査		7 油・油用通気管	7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	3 バイブシャフト内配管の保温	3 保温	<p>(ア)一般配管 ● SGP(白) ● S T P G</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-V S ● S T P G - V S</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-V S ● S T P G - V S</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・Ⅵによる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリングラウ用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡送水用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡散水用(※ 施工しない ● 施工する) <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓(● 1号 ● 2号)</p> <p>● 窒素 ● I G - 5 4 1 ● I G - 5 5 ● H F C - 2 2 7 e a ● H F C - 2 3</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p>																																																				
28 埋設表示		8 冷媒管	8 冷媒管	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	4 煙試験	4 屋内消火栓	<p>● 11都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買収 (取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <p>● 子メーター ※ 買収 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)</p> <p>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買収</p> <p>● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c)</p> <p>● 標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b)</p> <p>● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)</p>																																																				
29 支持金物・固定金具		9 空調用給水管	9 空調用給水管	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	9 給湯設備	5 ガス系消火栓の種類	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
30 総合試運転調整		10 空調用排水管	10 空調用排水管	※ SGP(白) ● V P	10 消火設備	6 ガス系消火の起動方式	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
31 アスベスト含有建材の処理		11 弁類	11 弁類	※ 5K ● 10K	11 ガス設備	7 ガス漏れ警報器	<p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・Ⅵによる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリングラウ用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡送水用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡散水用(※ 施工しない ● 施工する) <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓(● 1号 ● 2号)</p> <p>● 窒素 ● I G - 5 4 1 ● I G - 5 5 ● H F C - 2 2 7 e a ● H F C - 2 3</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p>																																																				
32 支持金物・固定金具		12 ファンコイルユニット	12 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。	12 浄化槽設備	1 処理種別及び方式	<p>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるような勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。</p> <p>形式はビーター管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空気調和機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● S S 4 0 0 (※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS (※ 1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付け可 ● 取付け不可 ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付け可 ● 取付け不可</p> <p>油面計はゲージ式(側圧計)とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p>																																																				
33 補修など		13 ダンパー	13 ダンパー	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	13 浄化槽設備	2 型式	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
34 はつり		14 ダクト	14 ダクト	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	3 処理能力	3 処理能力	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
35 はつり工事における非破壊検査		15 吹出口・吸込口	15 吹出口・吸込口	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	4 放流水の水質	4 放流水の水質	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
36 火災保険等		16 チャンパー等	16 チャンパー等	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	5 排水方式	5 排水方式	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
37 グリーン購入		17 消音内貼り	17 消音内貼り	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	6 埋戻し土	6 埋戻し土	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
38 鳥取県公共工事環境配慮指針		18 瞬間流量計及び流量測定口	18 瞬間流量計及び流量測定口	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	7 土留め工事	7 土留め工事	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
39 建築物省エネ法		19 定風量・変風量ユニット	19 定風量・変風量ユニット	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	8 マンホールふた	8 マンホールふた	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				
40 耐震施工		20 温度計	20 温度計	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	9 消毒薬	9 消毒薬	<p>● 5K ● 10K</p> <p>● 5K ● 10K</p>																																																				

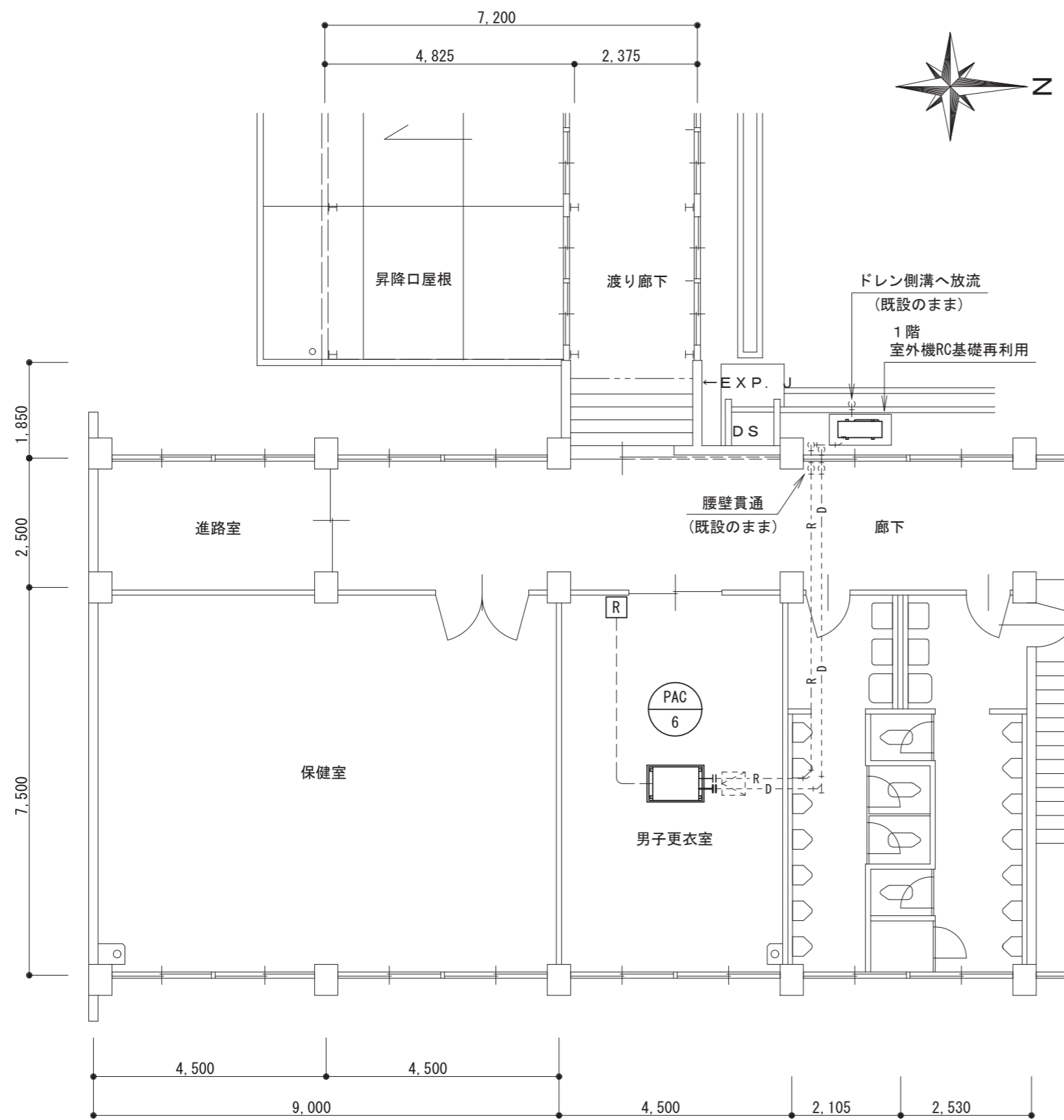


一級建築士事務所／建築設備設計事務所 Mechanical&Electrical Engineers X.PLAN	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認 田村	管理技術者 板倉	担当 板倉	作図 板倉	縮尺 NS	工事名称 県立倉吉農業高等学校管理教室棟男子更衣室エアコン更新工事	図面番号 M-02
						設計年月日 2026.02	図面名称 機械設備工事特記仕様書(2)	04



キープラン(2階)

系統図



2階平面図 S=1/100

機器表 (改修前)

記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考
PAC 6	パッケージエアコン	天井カセット2方向形 63形	3φ×200V	1	設置場所：2階男子更衣室 日立製 品番：RAS-J63H1(室外機) 品番：RCID-J63K1(室内機)
		定格冷房能力：6.3kW 定格暖房能力：7.5kW 暖房低温能力：5.1kW	COMP:1.8kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 屋外機用鋼製平架台300H(溶融亜鉛メッキ)	FAN内：35W		
		その他標準付属品共	FAN外：50W		
		冷媒：R22-2.2kg 天井開口寸法1060×670			
		冷媒配管：9.5φ(液)×15.9(ガス) ドレン配管：25A			
		室内外渡り線：EM-CEES 2.0sq-3C(冷媒管共巻), リモコン線：EM-CEES 1.25sq-2C			

注記

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※機器の電源取外しは電気工事とする。
- ※図中、**R** はエアコンリモコンを示す。
- ※冷媒管屋外保温外装(樹脂製化粧ケース)は撤去処分とする。
- ※1988年(昭和63年)完成のため天井材(石膏ボード9mm)にアスベストが含まれている可能性があるので分析検査を行うこと。(1検体)
- ※アスベストが含まれていた場合は、関係法令に基づき適切に施工し、処分費については監督員と協議すること。(本設計でアスベスト処分費を見込んでいない)
- ※図中 **□** は既設天井点検口450口を示す。

機器表 (改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	備考
PAC 6	パッケージエアコン	天井カセット2方向形(既設冷媒管再利用・高効率タイプ) 63形	3φ×200V	1	設置場所：2階男子更衣室
		定格冷房能力：5.6(2.6~6.3)kW 定格暖房能力：6.3(2.9~8.0)kW	COMP:1.10kW		
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, ワイドパネル, 転倒防止金物	FAN内：46W		
		屋外機用鋼製平架台300H(溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外：50W		
		冷媒配管：6.4φ(液)×12.7(ガス), ドレン配管：25A			
		天井開口寸法(参考)1245×640			
		定格消費電力：(冷房)1.59kW(暖房)1.65kW			
		室内外渡り線, リモコン線は再利用			

注記

- ※エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数 $K_i=1.8$ 以下の機種を選定すること。
- なお、 K_i 値が1.8を超える機器は、高調波抑制対策を講じて換算係数を1.8以下にすること。
- ※機器の電源送りは電気工事とする。
- ※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
- ※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。
- ※採用メーカーにより変更が必要となった場合は施工者負担で対応する。
- ※新設するエアコンは、必要に応じて冷媒の追加充填を行う事。
- ※室内機の更新に伴い、機器の接続部から500mm程度は冷媒管・ドレン配管(保温共)の更新をそれぞれ見込むものとする。
- ※冷媒管屋外保温外装(樹脂製化粧ケース)は新設とする。
- ※冷媒管と並ぶ露出ドレン管は、原則として冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。
- ※リモコン配線は既設配管・配線を再利用とし、切り離し再接続する。
- ※基礎ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定する。
- ※既設RC基礎に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施する。
- ※エアコンはグリーン購入法適合品とする。
- ※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。

鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所

一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

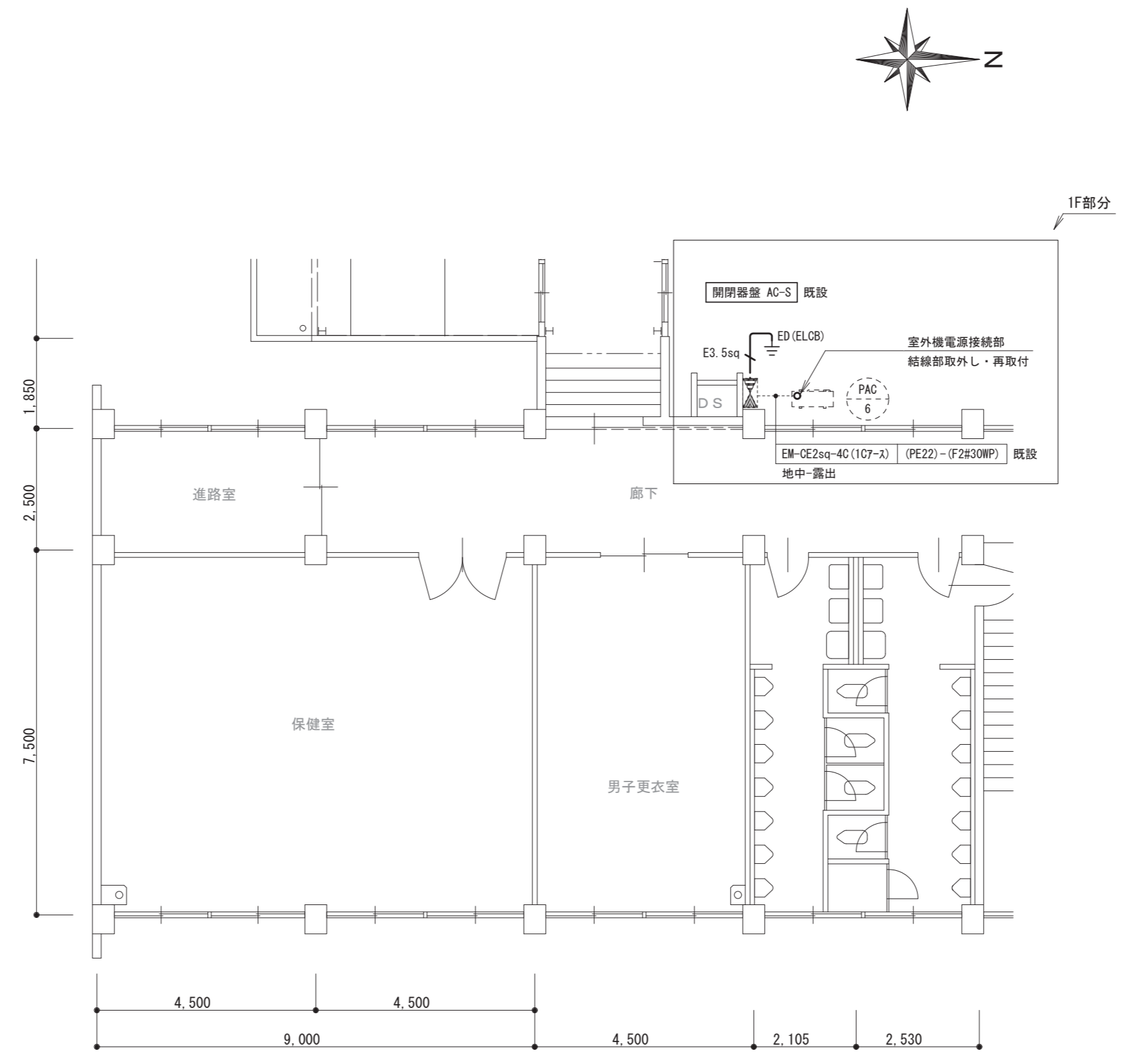
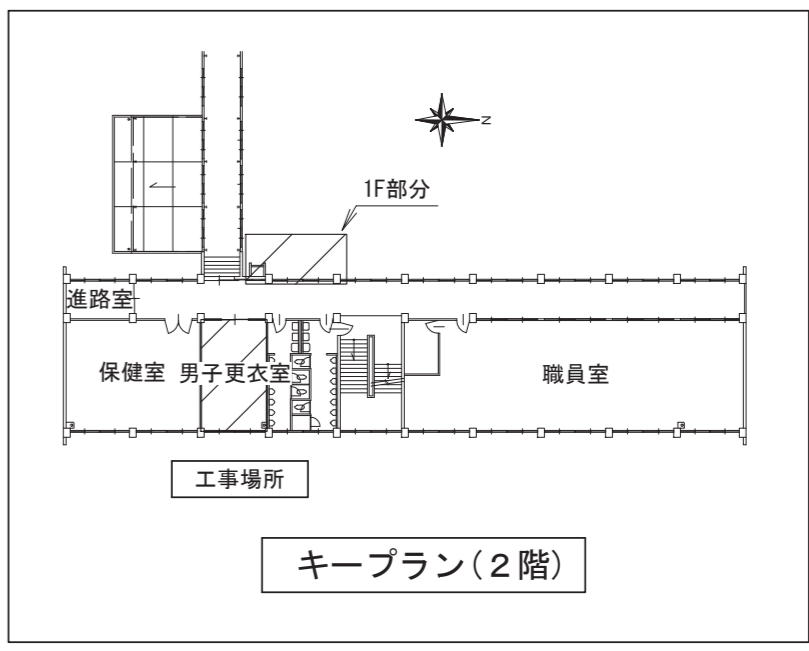
縮尺 1/100 (A2)
設計年月日 2026.02

工事名称 県立倉吉農業高等学校管理教室棟男子更衣室エアコン更新工事
図面名称 冷暖房設備 機器表(改修前・改修後)・2階平面図

図面番号 M-04 / 04

電気設備工事特記事項

特記仕様
 一般事項
 (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。
 ●公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 ●公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 ●公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準図」という。）
 (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。



- 注記
1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
 2. 図中、太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
 3. 図中、細線の配管配線及び細破線のシンボルは既設を示す。
 4. 内外機の張り配線は機械設備工事とする。

2階平面図 S=1/100 (改修後・前)



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical & Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	県立倉吉農業高等学校管理教室棟男子更衣室エアコン更新工事	図面番号	E-01 / 01
		田村	板倉	山下	山下	設計年月日	2026.02	図面名称	空調機電源設備 2階平面図 (改修後・前)		

県立倉吉農業高等学校祥雲寮 応接室エアコン更新工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M - 00	表紙・図面リスト	NS
M - 01	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M - 03	配置図・付近見取図	1/1500
M - 04	冷暖房設備 機器表(改修前・改修後)・1階平面図	1/50
E - 01	キュービクル式変電設備 単線結線図(改修後)	NS
E - 02	空調機電源設備 1階平面図(改修前・改修後)	1/200
E - 03	仮発電機設置図	1/200



機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市大谷

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	祥雲寮	RC	2	4,282.48	(5) 項 口	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備								
◎ 冷暖房設備	○							
● 換気設備								
● 排煙設備								
● 自動制御設備								
● 衛生器具設備								
● 給水設備								
● 排水設備								
● 給湯設備								
● ガス設備								
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
◎ 電気設備工事	○							
● 建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
◎ 空気調和設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ◎ パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
◎ 熱源	◎ 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
◎ 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ◎ ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ◎ 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
● 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ● 水道水 ● 井水
● 排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放 流 先 ● 汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄 化 槽 処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結放水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
● ガス設備	● 都市ガス (MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

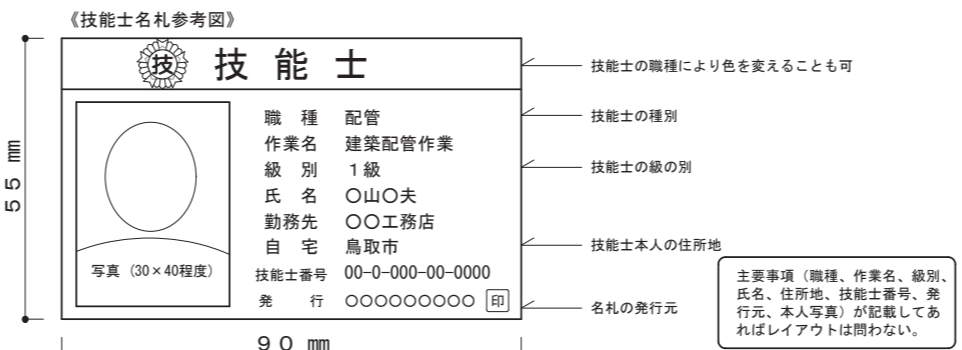
1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 - ◎印の付いたものによる。
 - ◎ 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - ◎ 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - ◎ 公共建築設備工事標準仕様書 (機械設備工編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に ○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は ◎印の付いたものを適用する。
 - ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と◎印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち () 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
◎ 1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
◎ 2 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 廃石綿 (配管用保温材) ● PCB使用機器) アスベスト含有設備資機材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物) は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊)
3 工事安全計画書等	
◎ 4 発生材の分析及び処理	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (3) の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承諾図様式 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。 機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。 機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。 電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ◎ 配管 (● 1級 ◎ 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ◎ 冷凍空気調和機器施工 (● 1級 ◎ 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)
◎ 5 機材等	
◎ 6 機材の品質・性能証明	
◎ 7 機材の承諾図	
◎ 8 図形等の表示	
◎ 9 電気容量及び機器表示	
◎ 10 技能士の適用	
◎ 11 施工図等	
◎ 12 完成写真等	



提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	◎ 要 ● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	◎ 要 ● 不要

13 完成図等

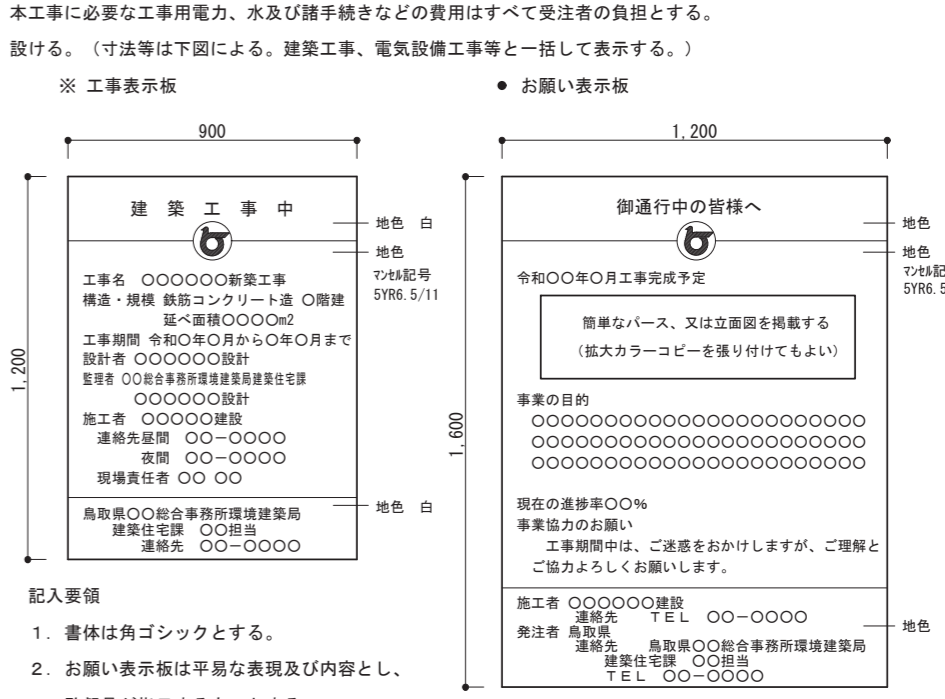
区分	名称	部数
◎ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1部
◎ 完成図 2つ折製本	◎ 完成図 ◎ 完成図 (縮小版) ◎ 施工図	※ 2部 ● 部
◎ 完成図書	◎ 完成図 (縮小版) ◎ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本 ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書	※ 2部 ● 部
◎ 保守用説明書 (A4版ファイル)	◎ 保守に関する指導案内書 ◎ 機器取扱説明書 ◎ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
◎ 保証書		1部
◎ 官公署の届出書類		1部
◎ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

14 他工事との取合

他工事との取合い	建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補 強	● ● ●	※ ● ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ● ●	● ● ● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		● ● ● ●	● ● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ● ●	● ● ● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	● ● ● ●	※ ● ● ● ●
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ● ● ●	● ● ● ●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 込 込 込 補 強	● ● ● ●	※ ● ● ● ●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ● ● ●	● ● ● ●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット (蓋を含む)		※ ● ● ● ●	● ● ● ●
● 天井点検口		※ ● ● ● ●	● ● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋 上 設 置	● ● ● ●	※ ● ● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ● ●	※ ● ● ● ●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ● ● ●	※ ● ● ● ●

15 工事用水・電力・その他

16 表示板



17 足場

18 工事用仮設物

19 土工事

20 保温工事

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
構内に作ることが ※ 出来る ◎ 出来ない
(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
● 山砂の類 ()
● 真砂土 ()
(イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール)
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 保温チューブ (厚さ◎)
◎ 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ◎ 保温チューブ (厚さ◎10t)
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ◎))
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール25mm厚) する。
◎ 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)
屋外 (◎ 樹脂製化粧ケース ● SUS銅板)



一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

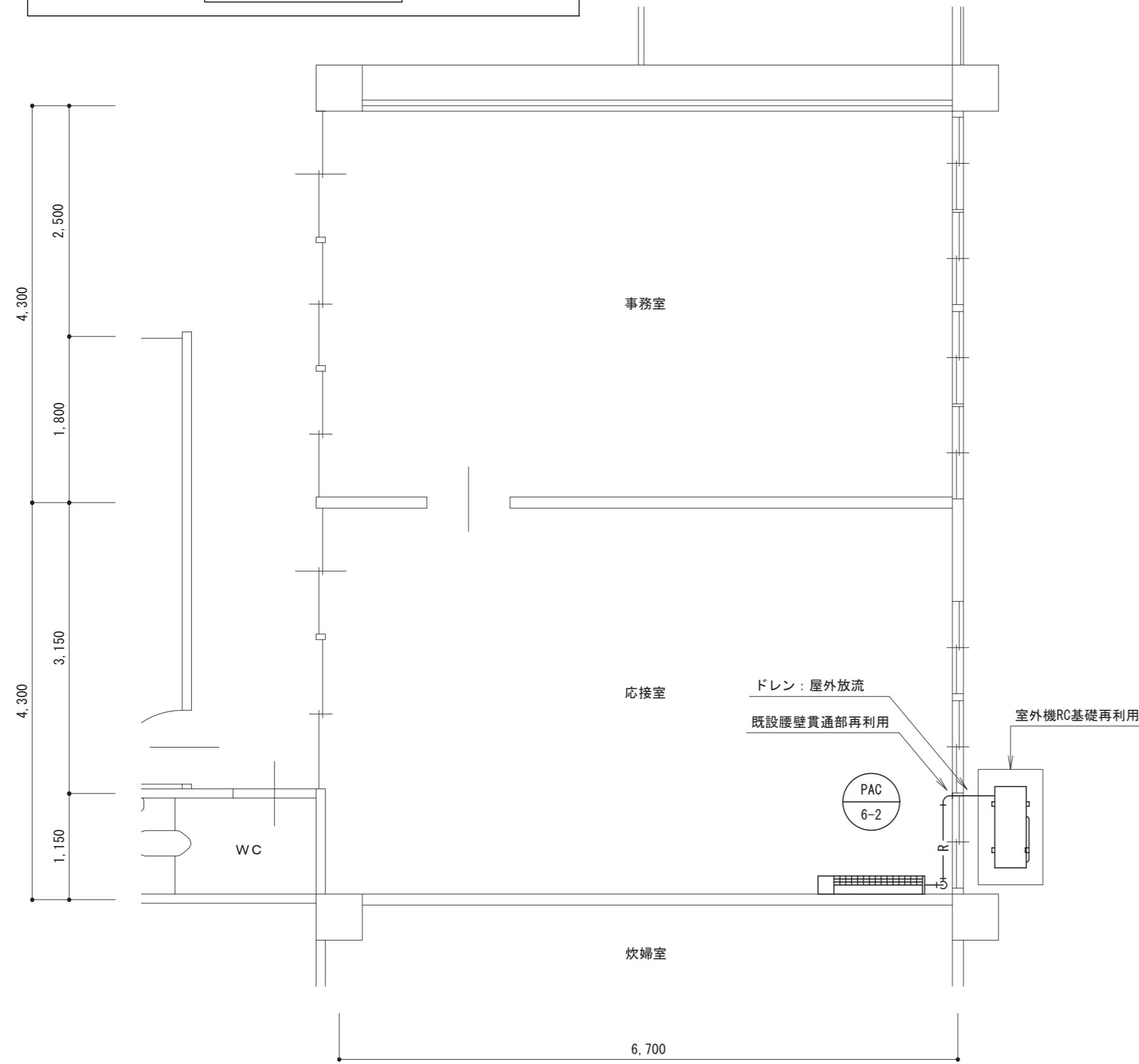
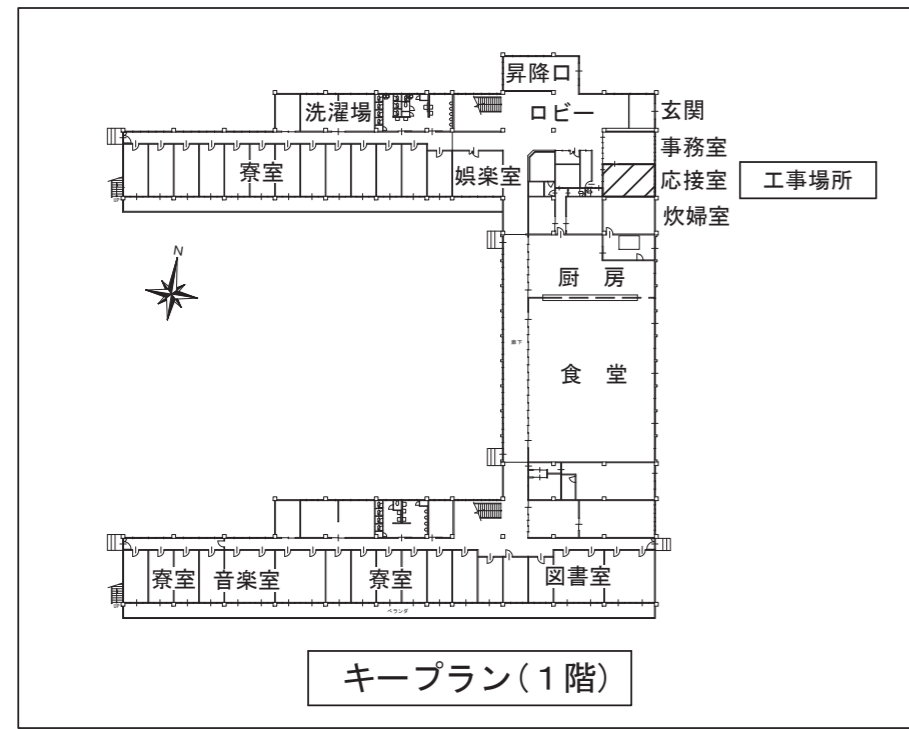
承認	管理技術者	担当	作図	縮尺
田村	板倉	板倉	板倉	NS

設計年月日 2026.02

工事名称 県立倉吉農業高等学校祥雲寮応接室エアコン更新工事
図面名称 機械設備工事特記仕様書 (1)

図面番号 M-01 / 04

一般 共 通 事 項	21 鋼管類の防食処置	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベトロラタム系 ● プレブルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びビシト <p>● 標準図(施工3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (1)絶縁フラランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製(球形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形(ステンレス製) <p>※ ペローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スリーブ形 <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、熔融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所() 	1 空気調和設備	1 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件</th> <th colspan="4">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0℃</td> <td>50.2%</td> <td>28.0℃</td> <td>成り行き%</td> <td>℃</td> <td>℃</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.4℃</td> <td>78.5%</td> <td>19.0℃</td> <td>成り行き%</td> <td>℃</td> <td>℃</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>		外気条件				室内(調整目標値)				一般		一般		一般		一般		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	36.0℃	50.2%	28.0℃	成り行き%	℃	℃	℃	%	冬季	-0.4℃	78.5%	19.0℃	成り行き%	℃	℃	℃	%	6 衛生器具設備	1 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>※ 小便器一体型 ● 小便器分離型</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄水量4リットル/回以下 <p>※ 個別感知方式 (● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手動式 	26 ステンレス鋼管の接合方法	<p>呼び径60S以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガス配管 ● 冷温水配管 <p>非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜取率 (● 標準仕様書による ● %)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地中埋設標を指示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●) <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 (● 一般飲料水適否検査 ●) ● その他水质等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●) 	2 冷却水管 3 冷水・温水・冷温水管	<ul style="list-style-type: none"> ※ SGP(白) ● SGP-V A ● SGP-P A ※ SGP(白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管(SUS304) <ul style="list-style-type: none"> ● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る) <ul style="list-style-type: none"> ※ SGP(白) ● ステンレス鋼管(SUS304) <ul style="list-style-type: none"> ※ SGP(黒) ※ STPG370-Sch40(黒) ● ステンレス鋼管(SUS304) <p>一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 断熱材被覆鋼管 ● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ● <ul style="list-style-type: none"> ※ SGP(白) ● VP ※ 5K ● 10K <ul style="list-style-type: none"> ※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオフィス形) を取得する。 <p>(ア) 防塵ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共振工法 ● スライドオンフランジ工法) (長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法 <ul style="list-style-type: none"> ● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるような勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取得する。</p> <p>形式はビーター管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 手動 ● 自動 <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400(※3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ● 取得付けない ● 取得付を付ける</p> <p>煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取得付 ● 取得付けない</p>	27 溶接配管の検査	<p>呼び径60S以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガス配管 ● 冷温水配管 <p>非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜取率 (● 標準仕様書による ● %)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地中埋設標を指示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●) <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 (● 一般飲料水適否検査 ●) ● その他水质等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●) <p>公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他の手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 ● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 <p>(測定時期： 測定場所： 測定点：)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。対象箇所() 	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							3 換気設備	8 排水設備	<p>1 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷温水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 鋼板製煙道</p> <p>24 オイルサービスタンク</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>(28)パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p>	7 給水設備	1 量水器 2 配管材料	<p>(ア)観メーター ※ 借用 ● 買収 (※ 直読 ● 遠隔表示)</p> <p>● 子メーター ※ 買収 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP-V B ● SGP-P B ● SUS304 ● SUS316</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H I V P ● 架橋ポリエチレン管 <p>(イ)土間下配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下) <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5K(受水槽以降の配管に使用) ● 10K(公営水道に直結する配管に使用) <p>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)</p> <p>● 屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。</p>	31 アスベスト含有建材の処理	<p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他の手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 ● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 <p>(測定時期： 測定場所： 測定点：)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。対象箇所() 	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							8 排水設備	1 配管材料	<p>(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-V P ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 耐火二層管 <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-V P ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-V P ● V U(地中) ● R E P-V U(地中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● R S-V U ● 卵形管 ● コンクリート管 <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取得付 ● 取得付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p>	9 給湯設備	1 配管材料 2 弁類	<ul style="list-style-type: none"> ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 <p>湯沸器、給湯機器の付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 5K ● 10K 	10 消火設備	1 配管材料 2 弁類 3 保温	<p>(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-V S ● STPG-V S</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-V S ● STPG-V S</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 10K ● 16K <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリングラウ用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連結送水用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連結散水用(※ 施工しない ● 施工する) <ul style="list-style-type: none"> ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓(● 1号 ● 2号) ● 窒素 ● I G-541 ● I G-55 ● H F C-227 e a ● H F C-23 <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p>	11 ガス設備	1 都市ガス設備 2 配管材料	<p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 親メーター ※ 借用 ● 買収(取付け ※ 別途 ● 本工事) ● 子メーター ※ 買収 ● 借用(取付け ※ 本工事 ● 別途) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買収 <ul style="list-style-type: none"> ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c) ● 標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事) 	12 浄化槽設備	1 処理種別及び方式 2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模合併処理(● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式()) ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニット型 ● 現場施工型 <p>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m³/d</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 砂 ● 根切土中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) <p>※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>	32 補修など	<p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空調用機器(パッケージエアコン) ● 衛生器具() ● 断熱材() ● 配管材(● 再生硬質ポリ塩化ビニル管) ● その他() 	33 はつり	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th colspan="3">● 特定の施設</th> <th colspan="3">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2~6階建：最上階、7~9階建：上層2階、10~12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) ● () <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設			設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6		機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	34 はつり工事における非破壊検査	<p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空調用機器(パッケージエアコン) ● 衛生器具() ● 断熱材() ● 配管材(● 再生硬質ポリ塩化ビニル管) ● その他() 	35 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th colspan="3">● 特定の施設</th> <th colspan="3">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2~6階建：最上階、7~9階建：上層2階、10~12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) ● () <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設			設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6		機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	36 火災保険等	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th colspan="3">● 特定の施設</th> <th colspan="3">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2~6階建：最上階、7~9階建：上層2階、10~12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) ● () <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設			設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6		機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	37 グリーン購入	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th colspan="3">● 特定の施設</th> <th colspan="3">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2~6階建：最上階、7~9階建：上層2階、10~12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) ● () <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設			設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6		機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	38 鳥取県公共工事環境配慮指針	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th colspan="3">● 特定の施設</th> <th colspan="3">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 重要機器</th> <th>● 一般機器</th> <th>● 一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2~6階建：最上階、7~9階建：上層2階、10~12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) ● () <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設			設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6		機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	39 建築物省エネ法	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限り</p>
		外気条件					室内(調整目標値)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		一般		一般			一般		一般																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	夏季	36.0℃	50.2%	28.0℃	成り行き%	℃	℃	℃	%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	冬季	-0.4℃	78.5%	19.0℃	成り行き%	℃	℃	℃	%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	設計用標準水平震度	● 特定の施設			● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設置場所	機器種別	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	● 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		



機器表 (改修前)

記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考
PAC 6-2	パッケージエアコン	壁掛形 80形	3φ×200V	1	設置場所：1階応接室 三菱重工製 品番：FDC-J80CD2(室外機) 品番：FDKN-J80D2(室内機)
		定格冷房能力：8.0kW 定格暖房能力：9.0kW 暖房低温能力：6.6kW	COMP:1.9kW		
		ワイヤレス, 屋外機用鋼製平架台300H (溶融亜鉛メッキ)	FAN内：40W		
		その他標準付属品共	FAN外：55W		
		冷媒：R22-2.38kg			
		冷媒配管：9.5φ(液)×15.9(ガス)			
		ドレン配管：16A			
室内外渡り線：EM-CEES 2.0sq-3C (冷媒管共巻)					

注記

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示す。
- ※冷媒管・ドレン管・室内外渡り線は全て撤去する。
- ※機器の電源取外しは電気工事とする。
- ※冷媒管屋内外保温外装(樹脂製化粧ケース)は撤去処分とする。



機器表 (改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	備考
PAC 6-2	パッケージエアコン	壁掛形(高効率タイプ) 80形	3φ×200V	1	設置場所：1階応接室
		定格冷房能力：7.1(3.4~8.0)kW 定格暖房能力：8.0(3.6~10.6)kW	COMP:1.29kW		
		ワイヤレスリモコン, 転倒防止金物	FAN内：48W		
		屋外機用鋼製平架台300H (溶融亜鉛メッキ), その他標準付属品共	FAN外：84W		
		冷媒配管：9.5φ(液)×15.9(ガス), ドレン配管：16A			
		定格消費電力：(冷房) 2.03kW (暖房) 2.15kW			
		室内外渡り線：EM-CEES 2.0sq-3C (冷媒管共巻)			

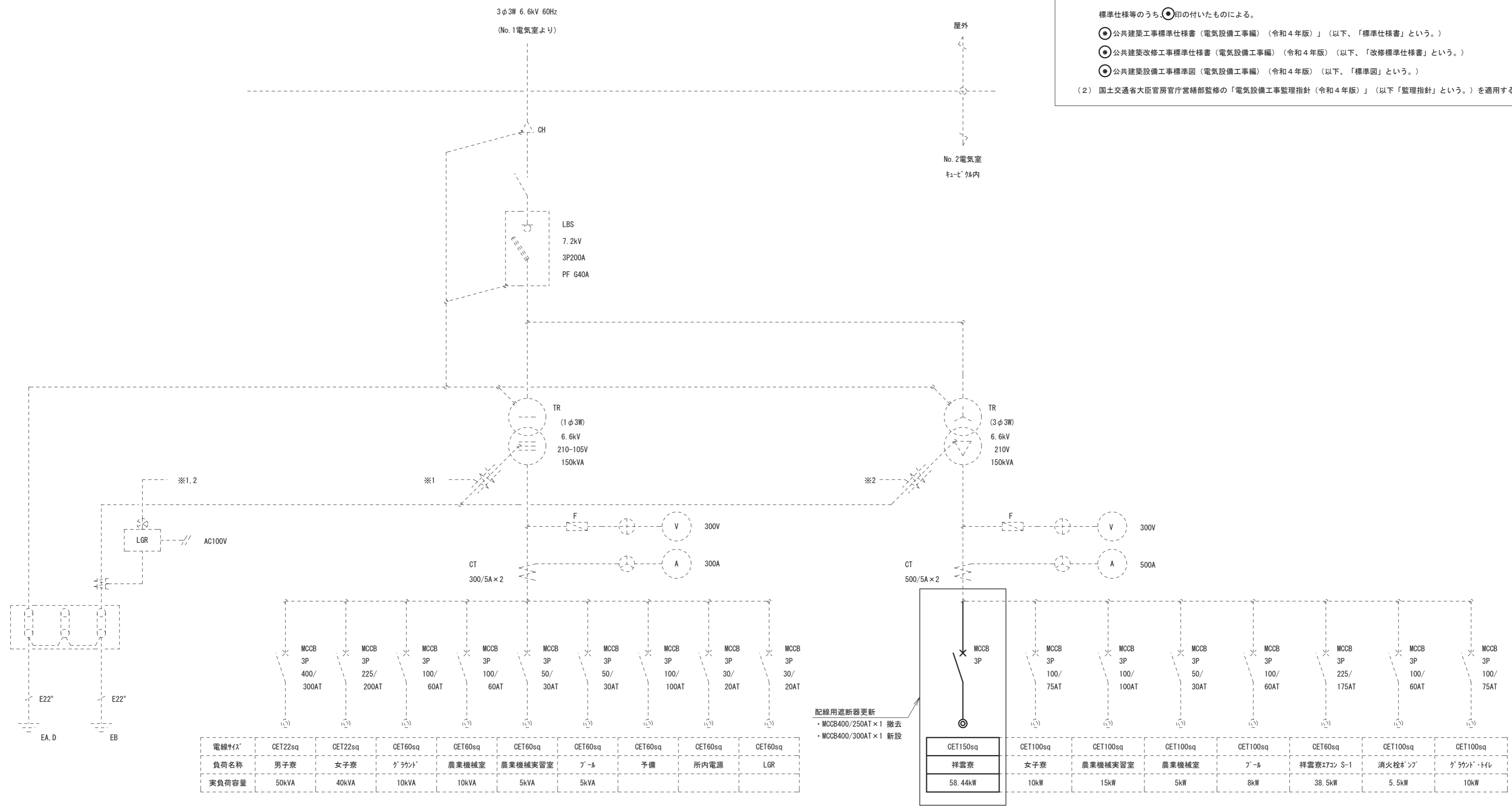
注記

- ※エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数Ki=1.8以下の機種を選定すること。
- なお、Ki値が1.8を超える機器は、高調波抑制対策を講じて換算係数を1.8以下にすること。
- ※機器の電源送りは電気工事とする。
- ※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
- ※冷媒管・ドレン管・室内外渡り線は全て新設する。
- ※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。
- ※採用メーカーにより変更が必要となった場合は施工者負担で対応する。
- ※新設するエアコンは、必要に応じて冷媒の追加充填を行う事。
- ※基礎ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定すること。
- ※既設RC基礎に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施すること。
- ※冷媒管屋内外保温外装(樹脂製化粧ケース)は新設とする。
- ※冷媒管と並ぶ露出ドレン管は、原則として冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。
- ※室内側のドレンは保温チューブ10tにて施工する。
- ※エアコンはグリーン購入法適合品とする。
- ※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。

鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所

電気設備工事特記事項



- 特記仕様
- 一般事項
- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準図」という。）
 - 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

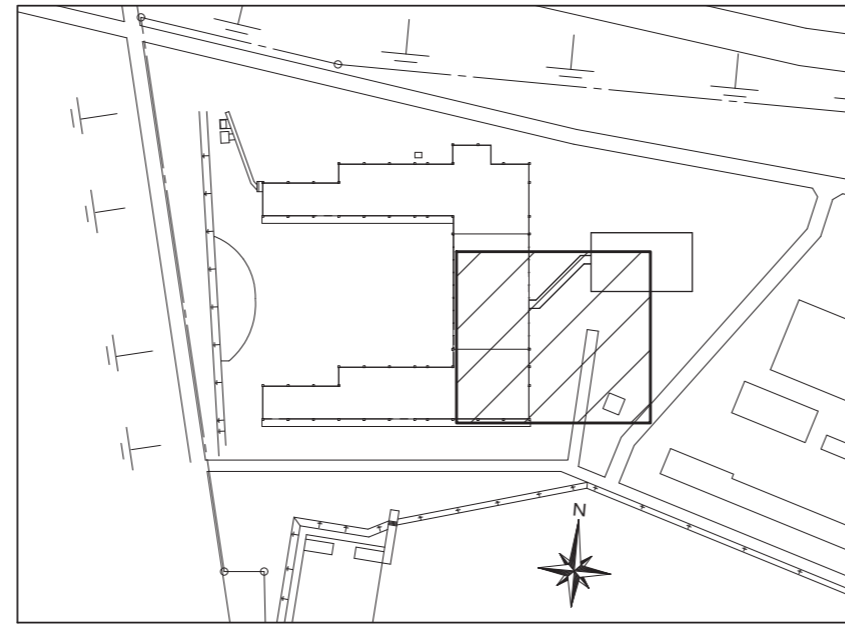


キュービクル式受変電設備 単線結線図 (改修後・前)

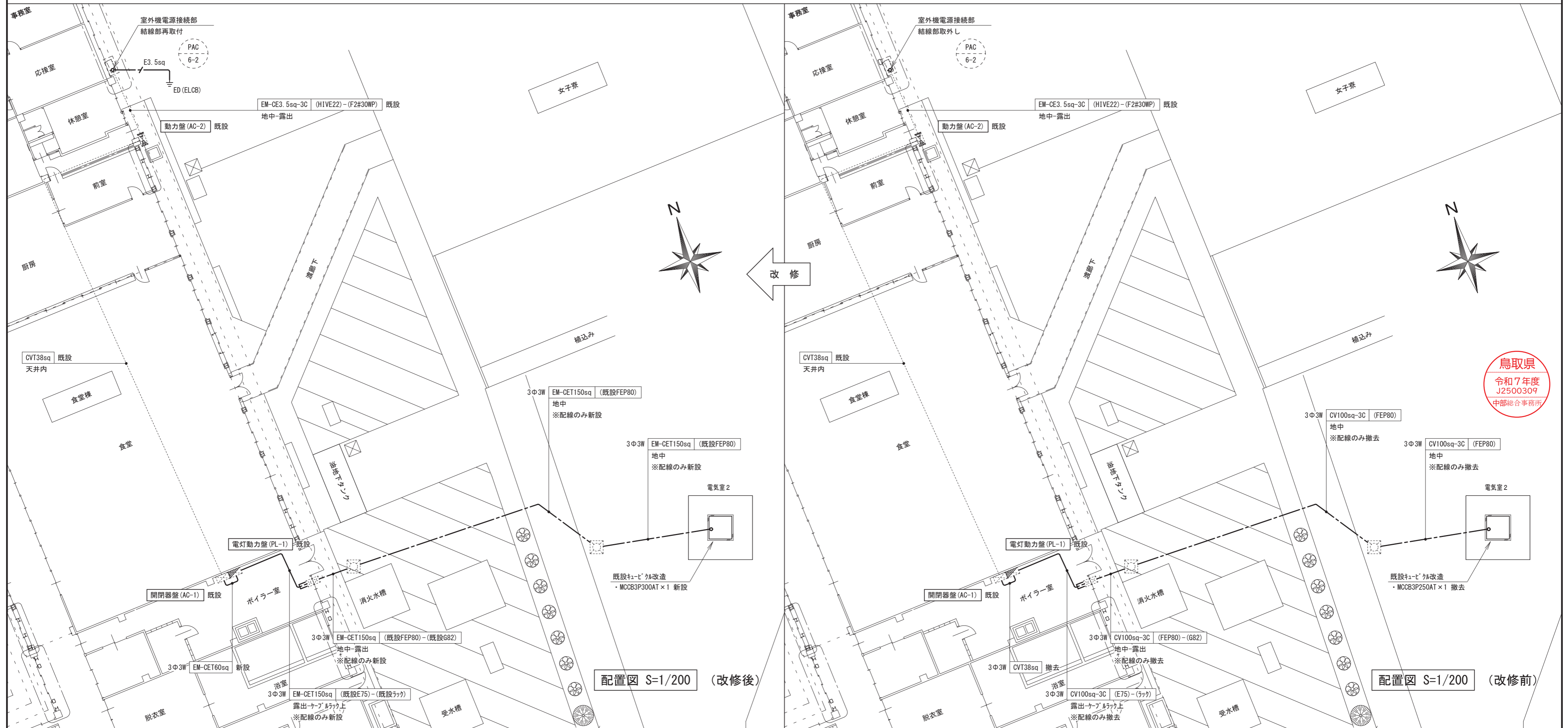


注 記

1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。		
2. 図中、指示なき太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。		
3. 図中、細線の配管配線及びシンボルは既設を示す。		
記号	名称	摘要
	既設ヘッドボックス	
	既設配管	SS 600×600×400 SUS-WP



キープラン



鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所

一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical&Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	山下	山下

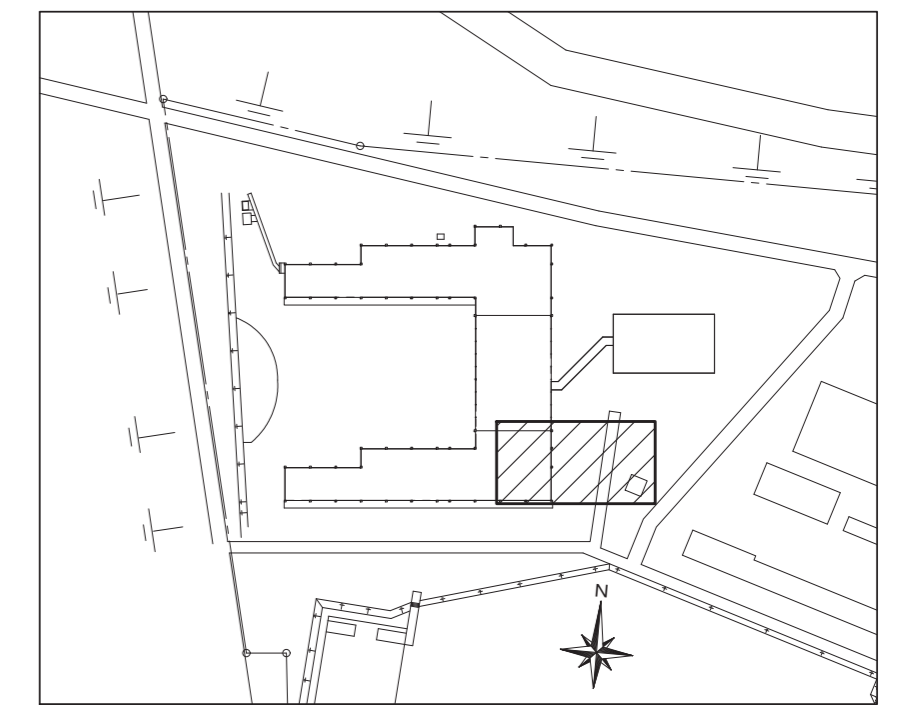
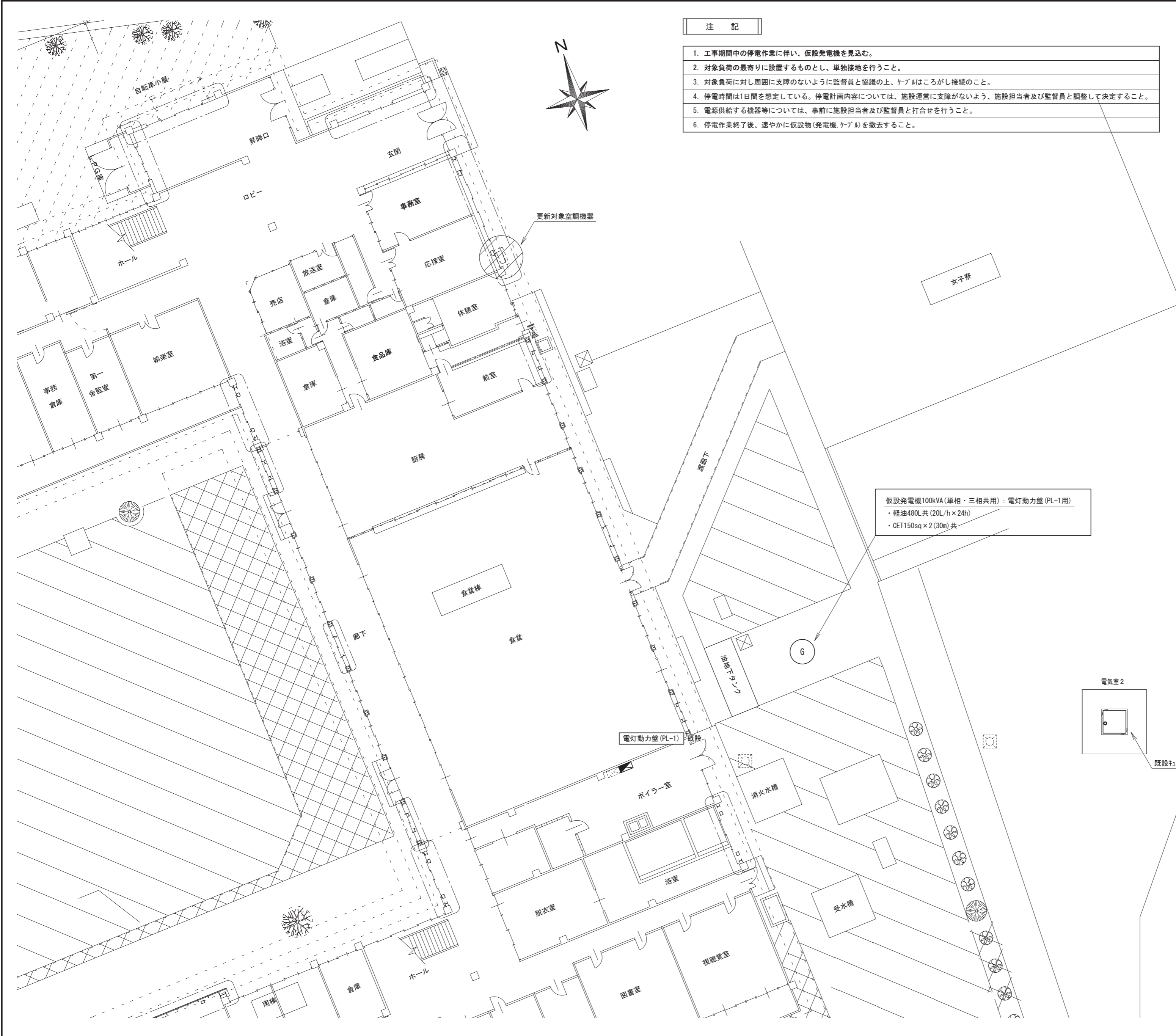
縮尺 1/200 (A2)
設計年月日 2026.02

工事名称 県立倉吉農業高等学校祥雲寮応接室エアコン更新工事
図面名称 空調機電源設備 配置図 (改修後・前)

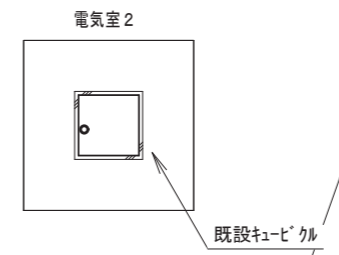
図面番号 E-02 / 03

注 記

1. 工事期間中の停電作業に伴い、仮設発電機を見込む。
2. 対象負荷の最寄りに設置するものとし、単独接地を行うこと。
3. 対象負荷に対し周囲に支障のないように監督員と協議の上、ケーブルはこがし接続のこと。
4. 停電時間は1日間を想定している。停電計画内容については、施設運営に支障がないよう、施設担当者及び監督員と調整して決定すること。
5. 電源供給する機器等については、事前に施設担当者及び監督員と打合せを行うこと。
6. 停電作業終了後、速やかに仮設物(発電機、ケーブル)を撤去すること。



仮設発電機100kVA(単相・三相共用)：電灯動力盤(PL-1用)
 ・軽油480L共(20L/h×24h)
 ・CET150sq×2(30m)共



配置図 S=1/200

鳥取県
 令和7年度
 J2500309
 中部総合事務所

一級建築士事務所／建築設備設計事務所 X.PLAN Mechanical&Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/200 (A2)	工事名称	県立倉吉農業高等学校祥雲寮応接室エアコン更新工事	図面番号	E-03
		田村	板倉	山下	山下	設計年月日	2026. 02	図面名称	仮設発電機設置図		03